



Corporate Identity

会社理念

そこでしかできない建築を考える

私たちは、その場所のさまざまな記憶、歴史、気候、風土、地形、資源などを十分に読み込み、その目的を最もよく達成するためのプログラム、技術、構造、環境、素材、コストなどを十分に探ることで、つまり、目に見えないことから目に見えるものまで、創造力(想像力)の全てをかけて建築を生み出すこと、を目指したいと考えます。

私たちの事務所は、住宅、店舗インテリアをはじめ、集合住宅、事務所、工場、学校、地区センター、図書館など民間、公共を問わずさまざまな建築設計に携わると同時に、住宅地開発や施設計画などより大きな企画、計画の策定、さらには家具のデザイン、ライブラリーカフェやギャラリーの運営、書籍の出版など多岐にわたり多くの事業を展開しています。その理由は、私たちが専門している建築デザインという領域が、狭義の設計活動に留まらない、社会と人をつなぐとても重要な役割を担っている、と考えているからです。

住宅一つとっても、そこに住まう家族の快適さを生み出すのは当然ですが、同時にその住宅は、景観としてもコミュニティにしても地域の一角を担う役割を負っています。そのような内外に向かうさまざまな視線、想像力が建築を考える上で不可欠です。

元々建築を考えることは、抽象的なコンセプトと具体的なディテールを往復する二方向のベクトルを必要とするのですが、今ではさらに大きな社会、生産の仕組み、エネルギー、風土や歴史、あるいは未来へのまなざし、等々多方面への思考、気くばりが求められているといっても過言ではありません。さらに言えば、社会を形づくる構造や技術がこれまでとは全く異なる次元に突入し、あらゆる事象が揺らいでいます。建築の世界も、その建築を内側で規定するプログラムのみならずかたちをもたらす仕組みも含めあらゆる局面がこれまでになく複雑になり、これまでの方法ではとても補えないほど多岐にわたります。例えば、図書館と一言で言っても、かつてのようないわゆるアーキタイプといわれる標準解はありません。そこで必要とされる図書館という建築の内容を、一から組み立てる必要があります。つまり、A市とB市の図書館の中身は異なることになります。学校、病院、事務所系、商業系、公共、民間を問わずあらゆるアーキタイプが揺らいでいます。住宅ですら賃貸や店舗や集会室が加わったり家族のあり方も含め実に多様になっています。建築を外から縛る法規も単体、集団規定あわせてどんどん複雑になり、専門性、コンプライアンス、コスト、スケジュールコントロールも含め建築を生み出すプロセスの質が重要になっている、と言えるでしょう。

私たちは、多くの経験を糧に、そしてチャレンジングな好奇心を持ってこれからの建築の可能性をさまざまに提案していきたいと思えます。

Architecture, accomplish with design only that can be realized

We provide sustainable solution of which shall be exercised for long value, considering several elements, such as climate, land shape,program, history, decade, human beings, method of construction, costetc. In other words, we produce architecture by all of imagination we have, even with invisible things and/or visible ones. We have been designing small to large scale of the architectures, such as pier, individual housing, complex housing, hospital, hotel, school,university and college, public hall, museum, and managing our café shop, publishing. The reason is that we believe the area of architectural design commits very important role connecting society and people, not limiting us to narrow design activities. We hope to propose various possibilities of architecture in the future bringing a lot of our experience and with a challenging curiosity.



Company Overview

会社概要

名称	株式会社 アーキシップスタジオ Archiship Studio Inc.
所在地	横浜事務所 神奈川県横浜市中区吉田町4-9 TEL. 045-326-6611 FAX. 045-326-6617 ----- 京都分室 京都府京都市東山区今熊野日吉町37-16 ----- E-mail info@archiship.studio URL http://www.archiship.studio
業務内容	◎ 建築企画、設計及び監理 ◎ 都市計画の企画・設計及び監理、 コンサルタント業務 ◎ 造園及びランドスケープのコンサルタント業務 ◎ 不動産の運用に関するコンサルタント業務 ◎ 不動産の売買・仲介・あっせん・賃貸及び管理 ◎ 家具プロダクトの企画、立案、製造及び販売 ◎ 喫茶店の経営 ◎ 書籍・雑誌の販売 ◎ 古物の売買業 ◎ ギャラリー、ショールーム等の展示場運営
設立	一級建築士事務所設立 1986年5月31日 株式会社 飯田善彦建築工房設立 1991年3月25日 株式会社 アーキシップスタジオに社名変更 2022年11月1日
代表者	飯田善彦 共同代表 武田尚久 共同代表 渡邊文隆 共同代表 山下祐平

登録番号	神奈川県知事登録 第10568号
加盟団体	日本建築学会／日本建築家協会
資本金	10,000,000円
取引銀行	三菱UFJ銀行 広尾支店

Company	Archiship Studio Inc.
Address	Yoshidamachi 4-9, Naka-ku, Yokohama Japan TEL.+81-45-326-6611 FAX.+81-45-326-6617 ----- Archiship Studio KYOTO 37-16,Imagumanohiyoshi-cho, Higashiyama-ku, Kyoto, Japan ----- E-mail info@archiship.studio URL http://www.archiship.studio
Practices	Design Architecture and administration Consultant practice of Urban planning Consultant practice of Landscape Plan, proposal and fabrication of furniture products
Establishment	Iida Archiship studio 31th, May, 1986 Iida Archiship studio Inc. 25th, March, 1991 Name changed to Archiship Studio Inc. 1st, November, 2022
Representative	Yoshihiko Iida CEO Naohisa Takeda CEO Fumitaka Watanabe CEO Yuhei Yamashita
Registration	No.10568 (Registered by Kanagawa Pref. governor)
Member	Architectural Institute of Japan The Japan Institute of Architects Japan Federation of Architects & Building Engineers Association



横浜事務所
みなとみらい線馬車道駅5番出口より徒歩10分
JR関内駅-ブルーライン関内駅より徒歩5分

Awards | Exhibitions

飯田善彦 主な受賞歴 | 展覧会

主な受賞歴

- 1998 日本建築学会作品賞を川上村林業センターにて受賞
- 2002 中部建築賞、2007年にBCS賞を名古屋大学野依センターにて受賞
- 2003 神奈川建築コンクール奨励賞を横浜市立大学交流プラザにて受賞
- 2009 栃木県マロニエ建築景観賞大賞を佐野清澄高等学校佐山記念体育館にて受賞
- 2010 国際海の手横須賀景観賞を横須賀市宮鴨居ハイムにて受賞
- 2012 神奈川建築コンクール優秀賞をminaGARDENにて受賞
- 2016 第16回JIA環境建築賞最優秀賞を沖縄県新看護研修センターにて受賞
- 2016 第4回京都建築賞優秀賞、BCS賞を龍谷大学深草キャンパス和顔館にて受賞

展覧会 [会場名(所在地) / 会期年月]

- 「assemblage 集積の方法」
 - La Galerie D'architecture (パリ、フランス) / 2004.12.18-2005.1.22
 - CAUE du Bas-Rhin(フランス・ストラスブール) / 2005.03.10-04.10
 - Faculdade de Arquitectura da Universidade do Porto(ポルトガル・ポルト) / 2005.07.01-28
 - 太郎吉蔵(北海道滝川市) / 2005.10.18-11.11
- 「日本の現代住宅1985-2005」ギャラリー間(東京都港区) / 2005.12.8-2006.2.25
- 「パラレル・ニッポン 現代日本住宅展1996-2000」東京都写真美術館 / 2006.10.21-12.03
- 「まちのみらいと建築家の仕事」BankART studio 1929 2006.6.29-7.1
- 「assemblage10+1 飯田善彦+ias展」Abbye-aux-Dames Exhibition Space (カーン、フランス) 2008.3.3-3.29
- 「mina garden」上海デザインビエンナーレ 上海展覽中心 (上海、中国) 2012.8.23 - 8.25
- 「そこでしかできない建築を考える」IAS京都分室(京都府京都市) 2014.12.20-2015.1.18

著書 [題名 / 共著 / 出版社名 / 出版年]

- 「assemblage 集積の方法」 光画コミュニケーションプロダクツ / 2004
- 「まちづくり101の提案カード」 光画コミュニケーションプロダクツ / 2005
- 「建築をつくることは未来をつくることである」 共著 / TOTO出版 / 2007
- 「そこでしかできない建築を考える」 flickstudio / 2014
- 「高宮眞介 建築史意匠講義」 共著 / Archiship Library&Cafe / 2016
- 「高宮眞介 建築史意匠講義II」 共著 / Archiship Library&Cafe / 2017

招待講演 [テーマ / 開催会場 / 主催者名 / 開催年月]

- 「横浜をめぐる建築家たち」BankARTスクール / BankART1929 / BankART主催 / 2005.02
- 「建築という方法」五十嵐アート塾レクチャーシリーズ第11回 / 北海道東海大学 / 滝川アートチャレンジ主催 / 2005.10
- 「建築-集積の方法」JIAまちづくりセミナー / 日本建築家協会近畿支部 / 2005.10
- 「建築という方法」大成建設デザインフォーラム2007 / 大成建設主催 / 2007.03
- 「街に学ぶ、街を育てる」Education Studies 01 / BankART studio NYK / Y-GSA主催 / 2007.03
- 「assemblage」第15回東海学生卒業設計コンクール / 名古屋都市センター / 日本建築家協会東海支部 / 2008.06
- 「建築の未来」第2回建築セミナー / 横浜市 / 2008.12
- 「日本建築の歴史と創造性」 / コートジボワールアビジャン / 在コートジボワール日本大使館 / 2016.04
- 「そこでしかできない建築を考える」 / イラン・イスラム共和国、イスファハン、タブリーズ / 2017
- 「日本建築の歴史と創造性」 / コンゴ民主共和国キンシャサ、コンゴ共和国、ブラザビル / 在コンゴ民主共和国日本大使館 / 2019.06



金沢市立玉川図書館



資生堂アートハウス



assemblage



日本建築の歴史と創造性講演
コンゴ共和国

Timeline

沿革

一級建築士事務所(株)建築計画 [元倉真琴と共同]
<ul style="list-style-type: none">アンカービル基本計画 (渋谷区 高層事務所ビル)成田法律事務所(港区 インテリア)IEF研究所 (千代田区 シンクタンクインテリア)

1981	<ul style="list-style-type: none">チムニー六本木店(港区 インテリア)大来佐武郎事務所(千代田区 インテリア)岸上ビル(松戸市 店舗、住宅)
-------------	---

1982	<ul style="list-style-type: none">堤坂邸(足立区 住宅)高橋邸(板橋区 住宅)第一精工矢板工場基本構想 栃木県 設計競技1等
-------------	---

1983	<ul style="list-style-type: none">石井商店ビル(世田谷区 店舗、住宅)ケネディハウス六本木(港区 ライブハウス)京都リタイアメントコミュニティ基本構想
-------------	--

1984	<ul style="list-style-type: none">ユニティ石堂(長野県 高層集合住宅)チムニーハウス(世田谷区 住宅)一番町ギャラリー(千代田区 画廊)
-------------	---

1985	<ul style="list-style-type: none">加瀬邸(港区 住宅)橋本邸(世田谷区 住宅)コンドミニアム桜坂基本構想 (長野県 集合住宅)
-------------	--

一級建築士事務所 飯田善彦建築工房
<ul style="list-style-type: none">久保邸(港区 住宅、工場)ステージライト(港区 ライブハウスインテリア)世田谷ICHモデル事業住宅基本構想

1987	<ul style="list-style-type: none">VILLA CORTE(文京区 住宅)パシフィックハウス田園調布 (大田区 建売住宅)上大崎フラット(品川区 集合住宅)
-------------	--

1988	<ul style="list-style-type: none">木村フラット(港区 住宅)上野毛フラット(世田谷区 集合住宅)河口湖畔の家(河口湖町 住宅)
-------------	--

1989	<ul style="list-style-type: none">BOMBAY BAZZAR(目黒区 集合住宅)逗子コンプレックス (逗子市 商業施設、集合住宅)アザブアクロス(港区 集合住宅)小諸プライムヒル(長野県 集合住宅)
-------------	---

1990	<ul style="list-style-type: none">青葉台ファースト(目黒区 商業ビル)クレセント(逗子市 フィッシャーマンズバー)油壺の家(三浦市 住宅)
-------------	--

1991	株式会社 飯田善彦建築工房 一級建築士事務所に改組 <ul style="list-style-type: none">中野坂上本町二丁目地区第一種市街地 再開発事業<サンブライトアネックス> (中野区 高層オフィス、中層オフィス、 商業施設、集合住宅)葉山の家(葉山市 住宅) 住宅建築賞受賞練馬の家(練馬区 住宅)
-------------	--

1992	<ul style="list-style-type: none">複合体の研究 「都市居住の新たな可能性を求めて」 (ハウジングアンドコミュニティ財団) 第二回若手デザイナー助成入選船橋の家(船橋市 二世帯住宅)
-------------	--

1993	<ul style="list-style-type: none">湘南国際村住宅基本構想(横須賀市)越前邸(横浜市 住宅)JSC本社ビル(練馬区 事務所)下北沢佐藤ビル(世田谷区 商業ビル、住宅)蓼科斜楼(長野県 別荘) 中部建築賞受賞
-------------	---

1994	<ul style="list-style-type: none">横須賀市ゴミ焼却施設基本構想(横須賀市)新津組清里営業所(山梨県 事務所)住都公園千葉ニュータウン集会場(千葉県 集会場)世界都市博覧会有明南地区 フレーム棟(東京都)
-------------	---

1995	<ul style="list-style-type: none">練馬U邸(練馬区 住宅)
-------------	--



川上村林業総合センター森の交流館



名古屋大学野依記念学術交流館



名古屋大学野依記念物質科学研究館



横浜市立大学交流プラザ



龍谷大学深草学舎キャンパス

1996	<ul style="list-style-type: none">興亜石油大阪リファイニングセンター (大阪 事務所、精油所 日揮と共同) グッドデザイン賞受賞 労働大臣賞受賞(労働省)JSCアネックスビル(練馬区 事務所)住宅-都市整備公団霞ヶ丘団地集会施設 (埼玉県 集会場)
-------------	---

1997	<ul style="list-style-type: none">宇都宮市ゴミ焼却施設基本構想(栃木県)小石川T邸(文京区 住宅)国分寺本多町住宅計画(国分寺市)北総花の丘公園 花と緑の文化館 (千葉県 地域施設)川上村林業総合センター森の交流館 (長野県 地域施設) 建築学会作品賞受賞(1998) 木材活用コンクール最優秀賞 INTER・INTRA SPACE SELECTION 97 デザイン賞受賞
-------------	--

1998	<ul style="list-style-type: none">多摩ニュータウンN-City (八王子市 住宅団地計画)N-Cityスクエア(八王子市 募集案内所)
-------------	---

1999	<ul style="list-style-type: none">町屋Sビル(カノン)(荒川区 集合住宅)逗子K邸(逗子市 住宅) INTER・INTRA SPACE SELECTION 2000 デザイン賞受賞元町計画プロポーザルコンペ優秀賞 及び元町特別賞受賞N-CITYクラブイースト計画(八王子市)横浜市内沢地区センター (横浜市 コミュニティ施設)
-------------	--

2000	<ul style="list-style-type: none">横浜国立大学図書館基本構想N-CITYクラブウエスト(八王子市 集会場)横須賀市立吉井・池田小学校 エスキスコンペ優秀賞(横須賀市)
-------------	--

2001	<ul style="list-style-type: none">LOOP HOUSE(軽井沢 住宅) 木質建築デザイン空間コンテスト優秀賞受賞センター北の家(横浜市 住宅)N-City T-S邸(八王子市 住宅) 東村立新富弘美術館建設国際設計競技優秀賞名古屋大学野依研究センター プロポーザル最優秀賞
-------------	--

2002	<ul style="list-style-type: none">浜名湖花博 休憩施設 (浜松市 トイレ、休憩所、展望デッキ)名古屋大学野依記念物質科学研究館 (名古屋市 大学実験棟)名古屋大学野依記念学術交流館 (名古屋市 会議施設、宿泊施設) BCS賞受賞／中部建築賞受賞／愛知まちなみ建築賞受賞横須賀市営鴨居住宅建替建築設計 エスキスコンペ最優秀賞松岡病院(久留米市 病院 日揮と共同)
-------------	---

2003	<ul style="list-style-type: none">横浜市立大学 交流プラザ (横浜市 多目的ホール等) 神奈川建築コンクール奨励賞受賞蓼科の森の家(長野県 住宅)ピアホレンガ(横浜市 観光船待合所)
-------------	--

2004	<ul style="list-style-type: none">龍谷大学深草学舎キャンパス 修景構想公開プロポーザル最優秀賞龍谷大学深草キャンパス修景計画 (京都市 ランドスケープ等)葉山本多邸(葉山町 住宅)あざみ野住宅N邸(横浜市 住宅)
-------------	--

飯田善彦+IAS建築展

「assemblage 集積の方法」

2004/12/17～2005/01/22(フランス・パリ)

2005/03/10～04/10(フランス・ストラスブール)

2005/07/01～28 (ポルトガル・ポルト)



横須賀市営鴨居住宅

- 2005

- プライズヒルデザイン監修
(横浜市 | 共同住宅 事業主:東急不動産ほか)
 - 横須賀市営鴨居住宅 第1期
(横須賀市 | 共同住宅)
 - みどり野診療所(横浜市 | 診療所 | 日揮と共同)
 - たちばな診療所(日揮と共同)
 - リハビリテーション施設(前原市 | 日揮と共同)
 - 舞子浜病院(福島県 | 日揮と共同)
 - LAPIS(港区 | 店舗、共同住宅)
 - 佐江戸アパートメント(横浜市 | 共同住宅)
 - 御水端N山荘(長野県 | 住宅)
 - Villa Vista(世田谷区 | 共同住宅、オフィス)
 - 三菱地所本郷パークハウス
ザ・プレミアムフォートデザイン監修
(文京区 | 共同住宅)
グッドデザイン賞受賞
 - 相鉄不動産グレースシア緑園都市
ガーデンプレミアム総合監修
(横浜市 | 共同住宅)
グッドデザイン賞受賞
 - FAURECIA Visual Identity
Competition 最優秀賞
 - SHEMA Factory,R&D Center
Competition 最優秀賞



OIKOS

- 2006

- SHEMA Factory, R&D Center
(フランス | 工場,研究所)
 - 佐野清澄高等学校体育館(佐野市 | 体育館)
栃木マロニエ賞受賞
 - 千鳥橋病院附属粕屋診療所
(福岡県 | 日揮と共同)
 - 三菱地所パークハビオ両国デザイン監修
(墨田区 | 共同住宅)
 - 横須賀市営鴨居住宅 第2期
(横須賀市 | 共同住宅)

- 2007

- ホテル三浦華園II cielo
(滝川市 | レストラン内装)
 - みなとみらいクリニック(横浜市 | 診療所)
 - 日の出スタジオ(横浜市 | ギャラリー)
 - 大安寺の家(岡山市 | 住宅)
 - 千代田女学園(千代田区 | 学校施設)

- 2008

- 上馬4丁目賃貸マンション計画デザイン監修
(世田谷区 | 共同住宅)
グッドデザイン賞受賞
 - 横浜国立大学建築学棟・工学基礎棟改修
(横浜市 | 学校施設)
 - 第一生命吉祥寺プロジェクト「NEST」
(武蔵野市 | 共同住宅)
 - 桜木町駅前広場(横浜市 | ランドスケープ等)
 - メサージュドローズ本店
(中央区 | 店舗インテリア)

- 2009

- 横須賀市営鴨居住宅 第3期
(横須賀市 | 共同住宅)
 - Ognit house(小国町 | ユニット住宅)
 - **名古屋大学(東山)総合研究棟(理・農学系)**
設計プロポーザル最優秀賞
 - 花まつビジュアルアイデンティティプロジェクト
(横浜市 | 店舗什器)
 - 栗木の家 I(横浜市 | 住宅)
 - T邸(東京都 | 住宅)
 - 川崎大師松屋(川崎市 | 店舗)
 - 栗木の家 II(横浜市 | 住宅)
 - Archinet旭台プロジェクト(横浜市 | 集合住宅)
 - **元石川小学校第二方面校**
設計プロポーザル最優秀賞

- 2010

- 元石川小学校第二方面校(横浜市 | 小学校)
 - U邸記念碑(東京都 | 記念碑)
 - 三菱地所パークハウス吉祥寺
OIKOS(東京都 | 共同住宅)
 - 新十津川町旧吉野小学校改修かぜのび
(北海道 | 美術館)
 - **横浜市脱温暖化モデル推進事業**
プロポーザル最優秀賞



名古屋大学理農館



名古屋大学理学南館



沖縄県看護研修センター



龍谷大学深草キャンパス和顔館



京都府立京都学・歴史館

- 2011

- 名古屋大学理農館・理学南館
(名古屋市 | 大学実験棟+講堂)
 - **沖縄県看護研修センター建設**
プロポーザルコンペ最優秀賞
 - F邸(東京都 | 住宅)
 - 新潟高田の家(新潟県 | 住宅)
 - **京都府新総合資料館(仮称)**
公募型設計競技最優秀
 - **神奈川県住宅供給公社大和町団地**
建替計画に伴う委託候補者選定
プロポーザル最優秀賞

- 2012

- **龍谷大学深草キャンパス第5期**
施設整備計画プロポーザル最優秀賞
 - 横浜市脱温暖化モデル住宅事業
[minaGARDEN](横浜市 | 住宅)
 - **横浜市脱温暖化モデル住宅事業**
神奈川建築コンクール優秀賞受賞
2017年度グッドデザイン賞 ベスト100

- 2013

- 美しが丘西小学校(横浜市 | 小学校)
 - 八雲コートハウス(東京都 | 集合住宅)
 - 沖縄県新看護研修センター
(南風原町 | 研修施設)
 - **第16回JIA環境建築賞(一般建築部門)最優秀賞**
環境設備デザイン賞
建築・設備統合デザイン部門最優秀賞

- 2014

- 京阪京都ビルリニューアル(京都市 | 事務所)
- 2015

- 「**そこでしかできない建築を考える**」作品集出版
出版記念展覧会
 - 「**そこでしかできない建築を考える 飯田善彦展**」
2014/12/20～2015/01/18(京都市)
- 2015

- 龍谷大学深草キャンパス和顔館(京都市 | 大学)
第4回京都建築賞優秀賞／第57回BCS賞
 - 神奈川県住宅供給公社
大和町団地(横浜市 | 共同住宅)
第60回神奈川建築コンクール住宅部門最優秀賞
- 2016

- 番町HUIS(東京都 | 集合住宅)
 - 龍谷大学専精館(京都市 | 大学)
 - 京都府立京都学・歴史館
(京都市 | 博物館・図書館・大学)
 - **立正大学品川キャンパス・第一次施設設備**
工事設計業務委託プロポーザル最優秀賞
- 2017

- 京阪淀屋橋ビルリニューアル
(大阪市 | 事務所)
 - 定山溪ファーム ビューハウス
(札幌市 | 休憩所)
- 2018

- 東京藝術大学Ueno Global Residence
(東京都 | 大学施設)
 - N邸(京都市 | 住宅)
 - **汐見台小学校建替え工事に伴う**
設計業務委託プロポーザル最優秀賞
 - **都岡小学校建替え工事に伴う**
設計業務委託プロポーザル最優秀賞
- 2020

- 龍谷大学成就館(京都市 | 大学)
 - 龍谷大学ミトラ館(京都市 | 大学)
 - **大熊町教育施設整備事業**
基本設計・実施設計業務委託
公募型プロポーザル最優秀賞
(福島県 | 教育施設 |
鈴木弘人設計事務所と共同)
 - **龍谷大学深草キャンパス施設整備**
プロポーザル最優秀賞(京都府 | 大学)
- 2021

- 立正大学品川キャンパス(東京都 | 大学)
 - 立正大学150周年記念館(東京都 | 大学)
- 2022

- 株式会社 アーキシップスタジオに社名変更
- 10
- 11

Timeline

Selected



VILLA CORTE



Lakeside House



BOMBAY BAZZAR



Kawakami Forest Club



Nagoya University
Noyori Research Center



Nagoya University
Noyori Research Center

1986	<ul style="list-style-type: none">• Kase House (Tokyo)• H House (Tokyo)
1987	<ul style="list-style-type: none">• Kubo House (Tokyo)
1988	<ul style="list-style-type: none">• Villa Corte (Tokyo)
1989	<ul style="list-style-type: none">• Kaminoge Flat (Tokyo)• Lakeside House (Yamanashi)
1991	<ul style="list-style-type: none">• House in Aburatsubo (Kanagawa)• Zushi Complex (Kanagawa)• Bombay Bazaar (Tokyo)• Bar Crescent (Kanagawa)
1992	<ul style="list-style-type: none">• House in Hayama (Kanagawa)• House in Nerima (Tokyo)
1994	<ul style="list-style-type: none">• House in Funabashi (Chiba)• Tateshina Sharoh (Nagano)
1995	<ul style="list-style-type: none">• JSC Building (Tokyo)• URBAN EXPO Pavilion Project (Tokyo)• Shimokitazawa S Building (Tokyo)
1996	<ul style="list-style-type: none">• Niitsu Office (Yamanashi)• Nakanosakaue Sunbright Annex (Tokyo)
1997	<ul style="list-style-type: none">• Kawakami Forest Club (Nagano)• Kasumigaoka Housing• Complex Assembly Hall (Saitama)
1998	<ul style="list-style-type: none">• Koa Oil Refining Center (Osaka)• T House (Tokyo)
1999	<ul style="list-style-type: none">• N-City Square (Tokyo)
2000	<ul style="list-style-type: none">• Hokuso Flower Park Center (Chiba)• Zushi K House (Kanagawa)• Machiya S Building [Kanon] (Tokyo)
2001	<ul style="list-style-type: none">• Ichizawa Community Center (Kanagawa)
2002	<ul style="list-style-type: none">• N-City Club West (Tokyo)• Loop House (Nagano)• Y house (Kanagawa)

2003	<ul style="list-style-type: none">• PACIFIC FLORA 2004 Rest Space (Shizuoka)• N-City T-S House (Tokyo)• Nagoya University Noyori Research Center (Nagoya)
2004	<ul style="list-style-type: none">• Pier AKA-RENGA (Kanagawa)• Yokohama City University Community Plaza (Kanagawa)• Matsuoka Hospital (Fukuoka)• S House (Nagano)
2005	<ul style="list-style-type: none">• Hayama H House (Kanagawa)• Azamino N House (Kanagawa)• Midorino Clinic (Yokohama)• Saedo Apartment (Kanagawa)• Ryukoku University Landscape Design (Kyoto)
2007	<ul style="list-style-type: none">• Omizubata N House (Nagano)• Ikejiri Renovation Project (Tokyo)• Lapis (Tokyo)
2008	<ul style="list-style-type: none">• Sano Kiyosumi High School Memorial Gym (Tochigi)• W house (Okayama)• Hinode Studio (Kanagawa)• Yokosuka Kamoi Housing (Kanagawa)• Yokohama National University Yokohama national Science Research Building (Kanagawa)• K house (Kanagawa)
2009	<ul style="list-style-type: none">• House in Kuriki 1 / private housing / (Kanagawa)• Flersproject (Pôle Régional d'Équipementiers Automobiles à Caligny) / factory/academy/ amusement facilities / (France)
2010	<ul style="list-style-type: none">• House in Kuriki 2 / private housing / (Kanagawa)• House in Shinkoiwa (Chiba)• Ogunit House / Pre-fabriced house unit / (Kumamoto)• Nest /housing (Tokyo)• Park house Kichijyoji "OIKOS" / -Next generation housing project/ (Tokyo)• Hankyo / weekend-house / (Shiga)



Yokosuka Kamoi Housing



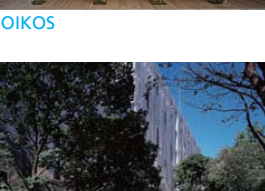
Yokohama City University
Community Plaza



Ryukoku University
Landscape Design



OIKOS



Nagoya University
New research Center "Rino-kan"



Nagoya University
New research Center "south wing"

2011	<ul style="list-style-type: none">• S house (Tokyo)• House in Takada (Nigata)• Nagoya University New research Center "Rino-kan" (Nagoya)• Nagoya University New research Center "south wing" (Nagoya)
2012	<ul style="list-style-type: none">• Minagarden (Kanagawa)• K house (Kanagawa)
2013	<ul style="list-style-type: none">• Utsukushigaoka Nishi Elementary school (Kanagawa)• Corporative House in Yakumo (Tokyo)• Okinawa Nursing Training Center (Okinawa)
2015	<ul style="list-style-type: none">• Yamatocho Housing (Yokohama)• Ryukoku University Fukakusa Campus Wagenkan (Kyoto)
2016	<ul style="list-style-type: none">• Bancho Huis (Tokyo)• Ryukoku University Fukakusa Campus Senshokan (Kyoto)• Kyoto Prefectural Library and Archives (Kyoto)
2017	<ul style="list-style-type: none">• Jozankei Farm Viewhouse (Hokkaido)
2018	<ul style="list-style-type: none">• Tokyo University of the Arts Ueno Global Residence (Tokyo)• N house (Kyoto)
2020	<ul style="list-style-type: none">• Ryukoku University Fukakusa Campus "Jojukan" (Kyoto)• Ryukoku University Fukakusa Campus "Mitrakan" (Kyoto)• Rishsho University Shinagawa Campus (Tokyo)

Awards

Selected



Kanazawa Tamagawa Library



Shiseido Art house

1985	<ul style="list-style-type: none">• SD Prize (Kajima Institute Publishing Co.,Ltd)
1994	<ul style="list-style-type: none">• Housing Architecture Prize [House in Hayama] (Tokyo Society of Architects & Building Engineers)
1996	<ul style="list-style-type: none">• The Chubu Architecture Award [Tateshina Sharoh] (Chubu Architecture Award Council)
1998	<ul style="list-style-type: none">• The Prize of Architectural Institute of Japan for Design.[Kawakami Forest Club] (Architectural Institute of Japan)• The first Prize of Practical timber use Competition[Kawakami Forest Club]
1999	<ul style="list-style-type: none">• Good Design Award of Part of Establishment [Koa Oil Refining Center] (Japan Industrial Design Promotion Organization)• The Prize of Minister of Labor [Koa Oil Refining Center] (Ministry of Labor)
2000	<ul style="list-style-type: none">• The Second Prize of the 5th Digital Design Competition[Flip/Flow] (Nikkei Architecture)• The Second Prize of Yokosuka Primary School Competition(Yokosuka municipal authorities)
2001	<ul style="list-style-type: none">• Entering the Best 5 Proposal in Wakayama Yumebutai Competition
2002	<ul style="list-style-type: none">• The Second Prize of The International Design Competition for a New Tomihiro Museum of SHIGA Azuma village authorities• The First Prize of Nagoya University Noyori Research Center Competition(Nagoya University)• The First Prize of Yokosuka Kamoi Housing Competition(Yokosuka municipal authorities)
2004	<ul style="list-style-type: none">• The First Prize of Ryukoku University-Fukakusa Campus Landscape Competition (Ryukoku University)• Wooden Architecture Space Design Contest [Loop House] (Japan EnviroChemicals.ltd)• The Chubu Architecture Award [Nagoya University Noyori Research Center] (Chubu Architecture Award Council)
2005	<ul style="list-style-type: none">• Aichi Architecture Design Award [Nagoya University Noyori Research Center] (Aichi prefectural authorities)• Encouragement Prize of Kanagawa Architecture Competition [Yokohama City University Community Plaza](Kanagawa Prefectural authorities)
2005	<ul style="list-style-type: none">• The First Prize of SHEMA Factory, R&D Center Competition
2007	<ul style="list-style-type: none">• BCS Prize [Nagoya University Noyori Research Center](Building Contractor Society)
2010	<ul style="list-style-type: none">• The first prize of Yokohama sustainable design housing Competition
2011	<ul style="list-style-type: none">• The first prize of Okinawa nursing training center design competition• The first prize of Kyoto prefecture library and archives design Competition
2012	<ul style="list-style-type: none">• The first prize of Ryukoku University master planning design Competition
2013	<ul style="list-style-type: none">• The first prize of the 16th Enviromental Architecture Awards (general architecture category), The first prize of Environmental and Equipment Design Awards [Okinawa nursing training center] (The Japan Institute of Architects)
2015	<ul style="list-style-type: none">• The second prize of the 4th Kyoto Architecture Awards [Ryukoku University Fukakusa Campus "Wagenkan"](Kyoto prefecture Architects Association)• BCS Prize [Ryukoku University Fukakusa Campus "Wagenkan"](Building Contractor Society)• The first prize of the 60th Kanagawa Architecture Concours (house category) [Yamatocho housing](Kanagawa Pref.)
2016	<ul style="list-style-type: none">• The first prize of Rissho University Shinagawa Campus Design Competition
2018	<ul style="list-style-type: none">• The first prize of Shiomidai elementary school Design Competition• The first prize of Tsuoka elementary school Design Competition
2020	<ul style="list-style-type: none">• The first prize of Ookuma educational center Design Competition (Collaborate with Hiroto Suzuki Architects and Associates)• The first prize of Ryukoku University Fukakusa Campus Design Competition

Exhibitions

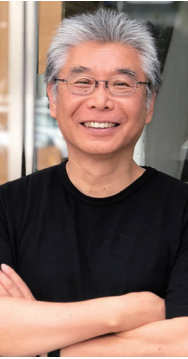
Selected

1998	<ul style="list-style-type: none">• GA JAPAN selection '98 (GA gallery)
2000	<ul style="list-style-type: none">• GA HOUSES PROJECT 2000 (GA gallery)
2001	<ul style="list-style-type: none">• TPO ReCommendation 2001 [Declaration of De-Designers' Collective Housing] (Living Design Center OZONE)
2004-2005	<ul style="list-style-type: none">• assemblage Yoshihiko Iida + IAS architecture exhibition (La Galerie d'Architecture Paris,FRANCE Strasbourg,France / Porto, Portugal Takikawa, Japan
2008	<ul style="list-style-type: none">• assemblage [10+1] Yoshihiko Iida + IAS architecture exhibition (Abbaye-aux-Dames Exhibition Space , Coen, France)
2012	<ul style="list-style-type: none">• Shanghai Design Biennial 2012 [MinaGarden] (Shanghai Exhibition Center)
2015	<ul style="list-style-type: none">• Architecture, accomplish with design only that can be realized (Iida Archichip Studio Kyoto satellite office)



assemblage

Profile



	飯田 善彦 一級建築士 第112708号		Yoshihiko Iida First-class architect No.112708
1950	埼玉県浦和市生まれ	1950	Born in Saitama Pref.
1973	横浜国立大学工学部建築学科卒業 沖縄国際海洋博覧会 船クラスター施設展示設計企業体 ㈱計画設計工房(谷口吉生、高宮真介)に所属	1973	Bachelor's degree, Yokohama National University (architecture) Okinawa international Marine Expo "Ship Cluster" Architects Term
1974	一級建築士事務所㈱建築計画設立(元倉真琴と共同)		
1980	一級建築士事務所 飯田善彦建築工房 設立	1974	Worked for Taniguchi Takamiya and Associates
1986	株式会社 飯田善彦建築工房 一級建築士事務所(に改組)	1980	Established Motokura,Iida and Associates
2007-12	横浜国立大学大学院Y-GSA教授	1986	Established Iida Archiship Studio
2012	飯田善彦建築工房京都開設	2007	Y-GSA/ Professor Architect, Yokohama National University
2013-16	立命館大学大学院SDP客員教授	2012	Established Iida Archiship Studio KYOTO
2013-17	法政大学大学院客員教授	2013-16	SDP/Guest professor, Ritsumeikan University, Architecture and Urban Design
2022	株式会社 アーキシップスタジオに社名変更	2013-17	Guest professor, Hosei University
		2022	Name changed to Archiship Studio Inc.



	CEO 武田 尚久 一級建築士 第348257号		CEO Naohisa Takeda First class registered architect No.348257
1978	静岡県生まれ	1978	Born in Shizuoka Pref.
2001	日本大学理工学部卒業 Istituto Europeo di Design ミラノ工科大学建築学部	2001	Bachelor's degree, Nihon University (architecture) Istituto Europeo di Design Politecnico di Milano (architecture)
2002	Mario Bellini Architects	2002	Worked for Mario Bellini Architects
2003	株式会社 飯田善彦建築工房入社	2003	Joined Iida Archiship Studio
2006	同社取締役	2006	Assumed the office of COO
2019	株式会社 アーキシップスタジオ 共同代表	2019	Assumed Archiship Studio Inc. of CEO
2022		2022	
	代表的な担当プロジェクト <ul style="list-style-type: none">大安寺の家[2007]Ogunit house[2009]かぜのび[2010]龍谷大学深草キャンパス[2012-]		The main charge projects <ul style="list-style-type: none">Daianji-house[2007]Ogunit house[2009]Kazenobi[2010]Ryukoku University Fukakusa Campus[2012-]



	CEO 渡邊 文隆 一級建築士 第355141号		CEO Fumitaka Watanabe First class registered architect No.355141
1981	栃木県生まれ	1981	Born in Tochigi Pref.
2007	横浜国立大学大学院卒業 株式会社 飯田善彦建築工房入社	2007	Master's degree, Yokohama National University (architecture) Joined Iida Archiship Studio
2019	同社取締役	2019	Assumed the office of COO
2022	株式会社 アーキシップスタジオ 共同代表	2022	Assumed Archiship Studio Inc. of CEO
	代表的な担当プロジェクト <ul style="list-style-type: none">名古屋大学理農館・理学南館[2011]京都府立京都学・歴史館[2016]立正大学品川キャンパス[2020]大熊町教育施設学び舎ゆめの森[2023]		The main charge projects <ul style="list-style-type: none">Nagoya Univ. New reseach Center "Rino-kan", "South wing"[2011]Kyoto Prefectural Librery and Archives[2016]Rissho University Shinagawa Campus[2020]Ookuma Educational Center[2023]



	CEO 山下 祐平 一級建築士 第319726号		CEO Yuhei Yamashita First class registered architect No.319726
1977	東京都生まれ	1977	Born in Tokyo Pref.
2003	日本大学大学院卒業 仲亀清進建築事務所	2003	Master's degree, Nihon University (architecture) Worked for Kiyonobu Nakagame Architect and Associates
2010	株式会社 飯田善彦建築工房入社	2010	Joined Iida Archiship Studio
2019	同社取締役	2019	Assumed the office of COO
2022	株式会社 アーキシップスタジオ 共同代表	2022	Assumed Archiship Studio Inc. of CEO
	代表的な担当プロジェクト <ul style="list-style-type: none">MINA GARDEN[2012]八雲コートハウス[2013]定山溪ファームビューハウス[2017]汐見台小学校[2023]		The main charge projects <ul style="list-style-type: none">MINA GARDEN[2012]Corporative House in Yakumo[2013]Jozankei Farm Viewhouse[2017]Shiomidai Elementary School[2023]



Works

Bombay Bazzar

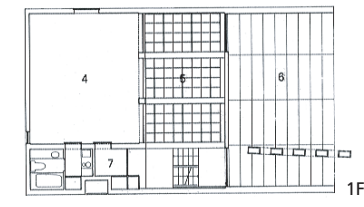
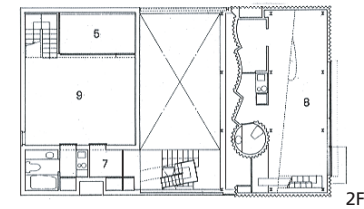
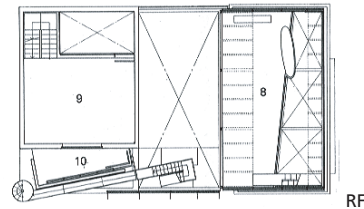
ボンベイバザー

1991 | Meguro-ku, Tokyo

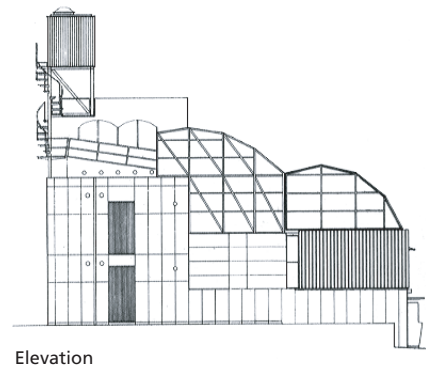
オフィス、居住空間、多目的スペースの複合建築。それぞれ独立した空間を、中庭を挟んで重ね合わせるように集積している。街路や隣接する環境に応じて形態、構造、素材、インテリアの雰囲気などを決定した。

This is a complex building with office, residence and multipurpose space. These independent spaces makes vertical layers and a courtyard is located in the middle of them. The shape, structure, materials and interior are match for the surrounding environment.

Building type:
Private housing, Gallery
Design:
Feb.1989-Feb.1990
Construction:
Apr.1990-Oct.1991
Site Area:
197.91m²
Total Floor Area:
331.62m²
Structure & Floor number:
RC+S / B1,2stories



Plan 0 5 10m



Elevation

0 5 10m



Niitsu office

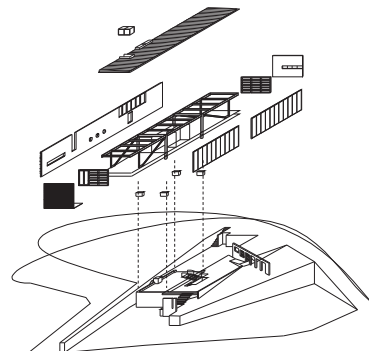
新津組営業所

1996 | Kiyosato, Nagano

雑木林が連なる国道沿いに建つ、建設会社の営業所の計画である。豊かな自然に囲まれた立地条件を生かしながら、事務所・倉庫・ショールームといったプログラムを単純な形態にまとめ、宙に浮かせている。周囲の状況に合わせて異なる立面とした。主にこの営業所が扱う別荘建築をイメージさせるように外構を整えた。

The office was built for a local constructor and the site is located along a National Highway in brush. Using the surrounding rich nature condition, the simple shape architecture combined office, storage and showroom is floating in the air. Each elevation has different faces to match surrounding atmosphere. The exterior space was designed to give an idea of villa projects of the client.

Design:
Mar.1994-Apr.1995
Construction:
May.1995-Jun.1996
Site Area:
641.55m²
Total Floor Area:
192.00m²
Structure & Floor number:
RC+S / 1basement+1story



Section

Elevation

0 5 10m

Nakanosakaue Sunbright Annex

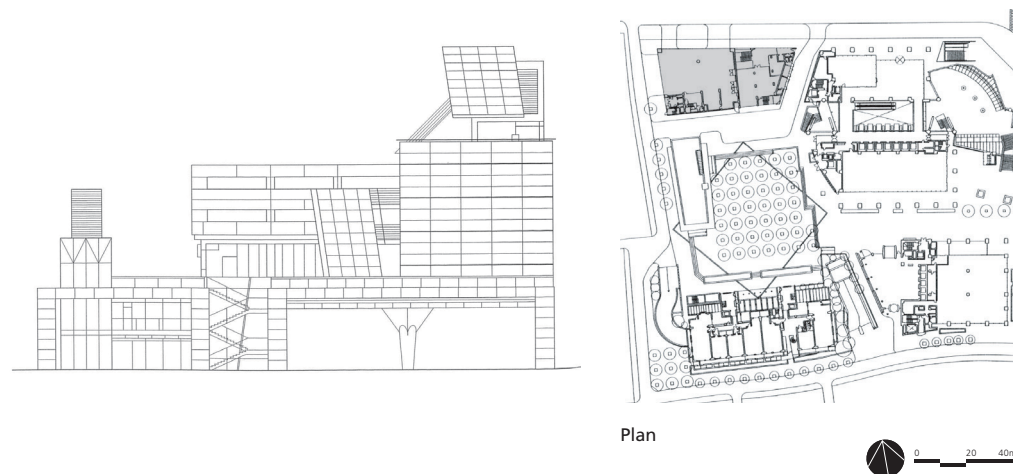
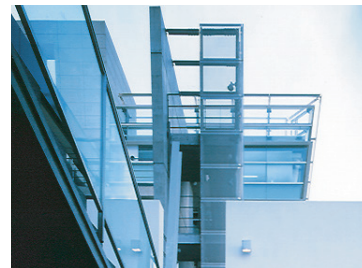
中野坂上サンブライトアネックス

1996 | Nakano-ku, Tokyo

中野坂上プロジェクトは、中野坂上交差点の一角を計画地とした市街地再開発であり、高層タワーのサンブライトツインビル(オフィス)を中心に様々な建築群が建ち並んでいる。サンブライトアネックスは店舗、ガソリンスタンド、事務所、住宅からなる複合施設である。法規上、防爆のためセットバックした角度をリピートしてデザインした。

This project is an urban redevelopment project on one corner of an intersection. A various buildings are built on the site including a high-rise office building "Sunbright twin building". It is a complex with shops, petrol station, offices and residences. The setback regulation for explosion protection is used for the architectural design.

Design:
Mar.1991-Dec.1992
Construction:
Feb.1993-Aug.1996
Site Area:
13372.66m²
Total Floor Area:
2540.30m²
Structure & Floor number:
RC+S / 1basement+5stories



Kawakami Forest Club

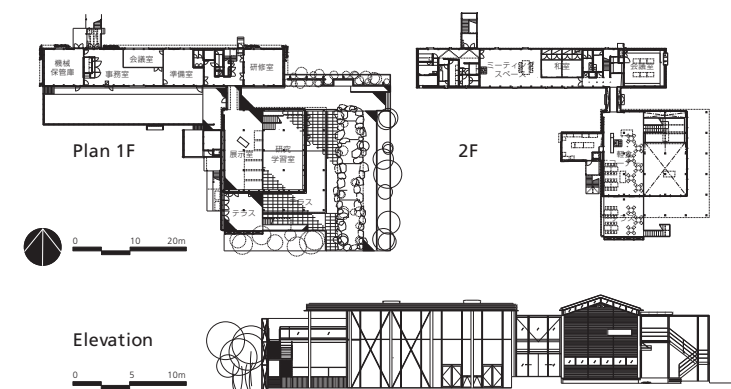
川上村林業センター

1997 | Kawakami, Nagano

かつてカラマツで栄え、衰退後に高地野菜農業に転換した川上村に建つ、森について考える拠点である。林業と地域を結ぶ交流施設(レストラン、展示施設、イベントスペース)と、林業組合や林業従事者のベースとなる施設の2棟で構成されている。周辺環境にも配慮し、敷地全体が村の公共スペースとなるように計画した。

This is a Forestry Center located in Kawakami village where used to developed by trading larch timber and later developed by upland vegetable cultivation. It composed with two buildings to make a connection with forestry and local residences, one is a community center with forestry exhibition space and restaurant and the other is a central facility with a lounge and meeting rooms for forestry workers. We made whole of the site as a community space for the village with respecting surrounding environment.

Design:
Sep.1995-Jul.1996
Construction:
Sep.1996-May.1997
Site Area:
2775.34m²
Total Floor Area:
989.32m²
Structure & Floor number:
W / 2stories
Award:
The Prize of
Architectuai Institute
of Japan



Kowa Oil Refining Center

興和石油大阪製油所 リファイニングセンター

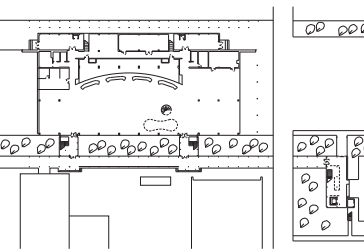
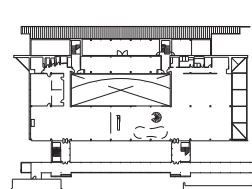
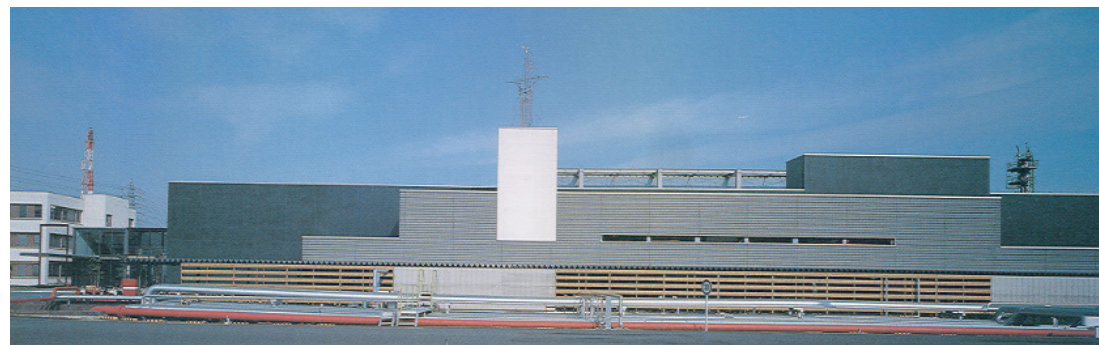
1998 | Osaka, Osaka

オフサイト(事務所や研究施設などが配置されるエリア)に計画された製油所のコントロールセンターと事務関係エリアをひとまとめた複合施設である。この計画に伴い、製油所全体を再編した。効率的なサイト内施設群の再編成と快適環境化を目指しながら、本館、R.C、研究棟、体育館を2階レベルで連結し、空中広場的な交流スペースとしてのペDESTリアンデッキと、それに並行する緑地の導入を実現した。(日揮と共同)

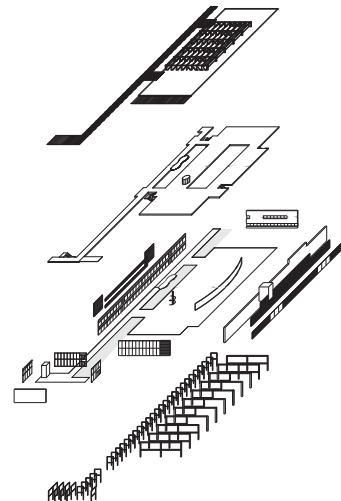
This is a complex building with control center and office facilities of the oil factory in offsite (a place for offices, laboratories and so on). The oil factory was reorganized with this project. Our scheme is to design an efficient composition and comfortable environments. We came up with making a pedestrian deck, working as an open community space, and green space in parallel.



Design:
Jun.1996-Apr.1997
Construction:
Jul.1997-May.1998
Site Area:
649152.87㎡
New construction Floor Area:
3709.44㎡
Reconstruction Floor Area:
4050.00㎡
Structure & Floor number:
S / 2stories
Award:
Good Design Award 1998
[Part of Establishment]



Plan



Diagram

千葉ニュータウンのほぼ中央部に整備された北総花の丘公園の中核施設。巨大なクロワッサン型マウンドや円形フロントヤードとの関係を調整しながら、構成要素をグルーピングして小さな棟に納め、その中心にアーバンフラワープラザをアトリウムを兼ねて配置した。様々な経路がグラウンドを横断し、施設内に貫入する。

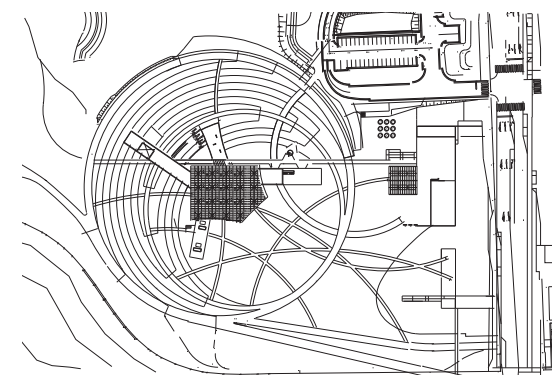
This is a central facility in Hokus Flower Park in the center of Chiba new town. The Atrium Lobby (Botanical Exhibition Hall) is located at the center of the volumes which are grouped by each functions with adjusting the relationship with a croissant-shaped mound and circle front yard. Various paths across the ground and pass in the facility.

Design:
Nov.1997-Aug.1998
Construction:
Dec.1998-Mar.2000
Site Area:
119,378.33㎡
Total Floor Area:
2,754.93㎡
Structure & Floor number:
RC+S / 2stories

Hokuso Flower Park center

花と緑の文化館

2000 | Inzai, Chiba



Site Plan



Zushi K house

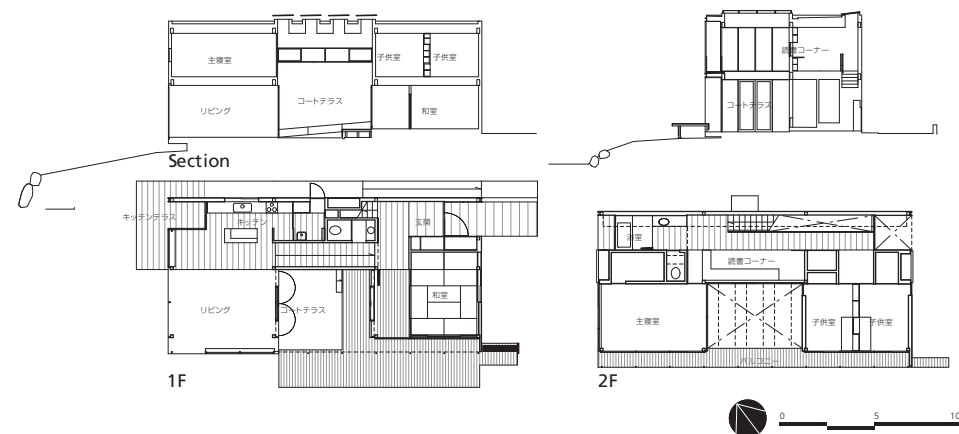
逗子Kハウス

2000 | Zushi, Kanagawa

遠くに富士山、近くに相模湾を望む住宅地に建つ、夫婦と子供2人のための住宅。テクスチャや光を織り込み、それぞれの場所をつくることを考えた。

This is a residential project for a couple and two children located in a residential area having a view of Mt. Fuji and Sagami harbor. It is constructed by the solid lattice frame with incorporating textures and daylight.

Design:
May.1999-Oct.1999
Construction:
Dec.1999-Jul.2000
Site Area:
500m²
Total Floor Area:
219.42m²
Structure & Floor number:
W / 2stories



Ichizawa Community Center

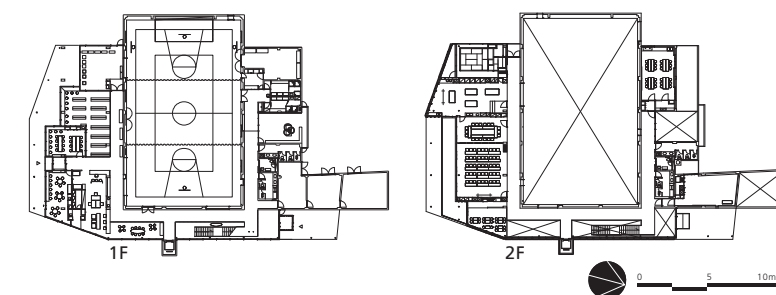
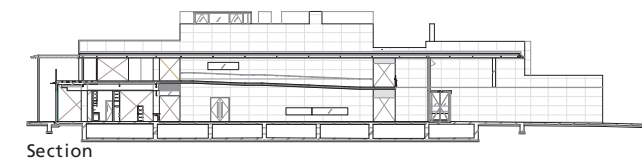
市沢地区センター

2001 | Yokohama, Kanagawa

横浜市旭区の住宅地に計画された地域住民の交流拠点。スポーツ・集会・学習・展示・コミュニティ機能を複合した多目的施設である。幅広い利用層や公園利用者に開かれた施設を目指しながら、中央に位置する体育室を取り囲むように図書室、調理室、集会室など各室の相互関係を組み立て、複合施設としての開放性と明快さが十分発揮されるように考えた。

This is an exchange facility for residents in a residential area in Asahi ward, Yokohama. It is composed of sports, meeting, study, exhibition and community functions. We tried to design this building as open and clear as possible for various users by the composition putting a gym in the center and library, cookery, meeting room are surrounding it.

Design:
Nov.1999-Aug.2000
Construction:
Nov.2000-Dec.2001
Site Area:
3238.68m²
Total Floor Area:
1737.42m²
Structure & Floor number:
RC+S / 2stories



Loop house

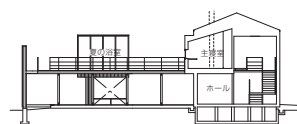
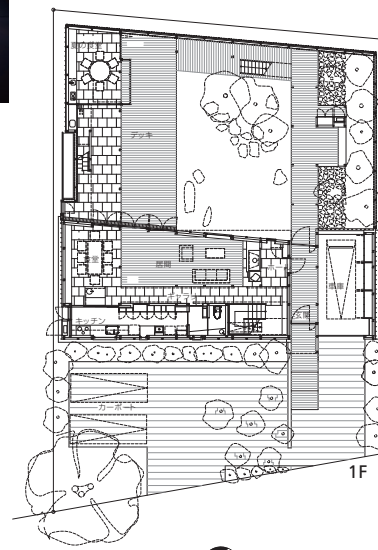
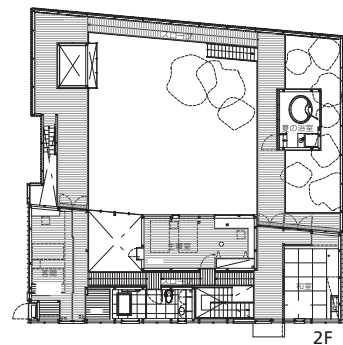
ループハウス

2002 | Karuizawa, Nagano

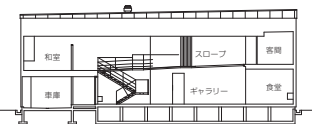
軽井沢の市街地に建つセカンドハウス。周囲の状況を考慮しコートハウスとした。主屋に加え、夏の食堂と夏の浴室が庭に分散配置され、それらをループ状のデッキが巡っている。内外に多様なシーンを生み出す工夫に満ちた住宅である。

This is a second house in an urban area in Karuizawa. We designed a courthouse with surrounding situation in mind. In addition the main volume, the summer dining and the summer bathroom are distributed separately and the looped deck is connected them. The diverse scenes are made in both of interior and exterior spaces.

Design:
Feb.2001 - Aug.2001
Construction:
Oct.2001 - Jul.2002
Site Area:
621.28m²
Total Floor Area:
269.66m²
Structure & Floor number:
S+W / 2stories



Section



Plan



Pier Aka-renga

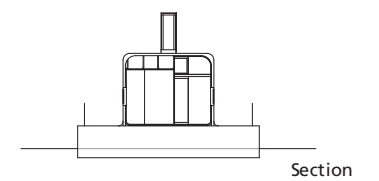
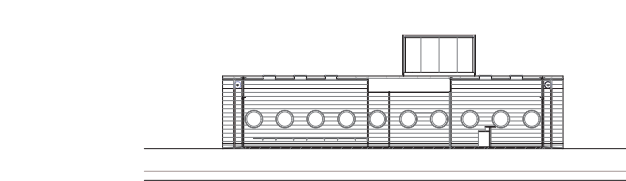
ピア赤レンガ

2004 | Yokohama, Kanagawa

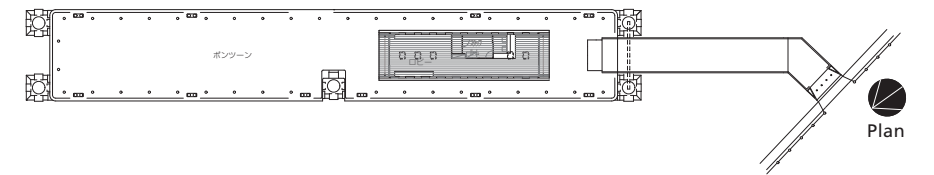
赤レンガ倉庫前の海上に計画された横浜港に就航するシーバスのためのターミナルである。待合所、チケット売場が入る小さな建物を、内装も含めすべて造船所での製作としている。違和感無く海上に置かれるデザインを目指した結果、ほとんど船に近い建造物になっている。内部も船に見立てチークに近い木製パネルで仕上げた。

The pier for "sea bus" is located in front of the red brick housings which is one of popular place for tourists. All of the parts including interior finishing materials are manufactured at a dockyard. To match the seaborne location, the architecture became almost a ship-shaped volume. The interior space is finished by wooden panels which similar to teak like a ship interior space.

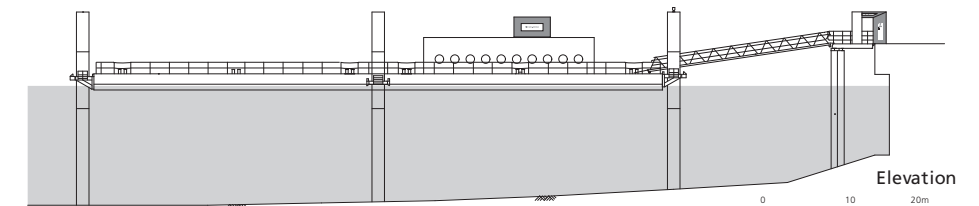
Design:
Dec.2003-Jun.2004
Construction:
Feb.2004-Mar.2004
Site Area:
493.04m²
Total Floor Area:
54.44m²
Structure & Floor number:
S / 1story



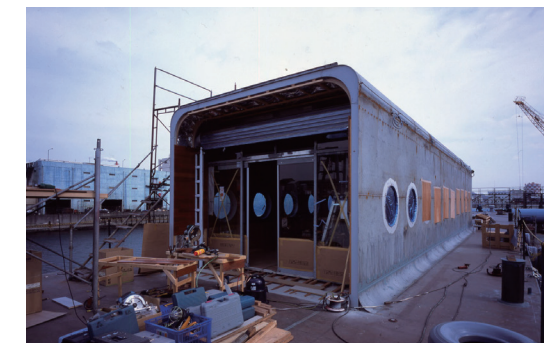
Section



Plan



Elevation



Yokohama City Univ. Community Plaza

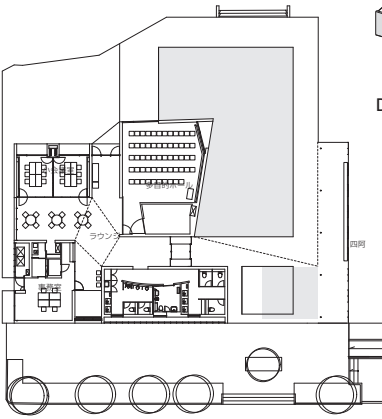
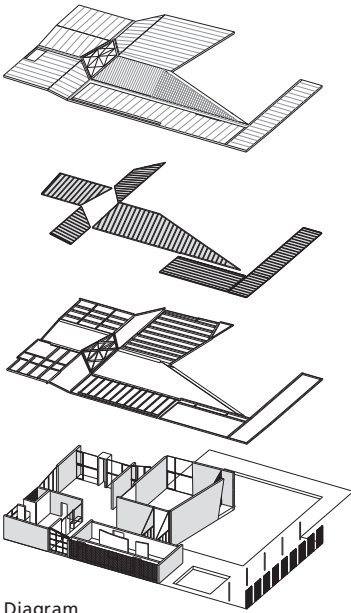
横浜市立大学交流プラザ

2004 | Yokohama, Kanagawa

創立75年を記念して大学構内に建てられた、学生の自主活動、産学連携等の拠点として一般にも利用される施設である。多目的ホール、会議室、事務室、トイレの4つの機能をもった異なるボリュームを矢羽根状に配置し、それらを中間領域である十字型の交流ラウンジで結んでいる。既存の池を拡大した水盤を利用して、屋根散水・池循環システムを実現し、夏期の熱負荷を軽減している。又、最終汚泥でつくるハマレンガを製品化して内外に敷きつめた。

The building is located in Yokohama City University campus working as a place for student's activities and academic-industrial alliance. Four volumes which have different functions like multi-purpose room, conference room, office and bathroom are arranged to make an arrow shape. The space between each volumes are used as a community lounge and connects each volumes. With the roof sprinkler and water circulation system by the water feature which expanded the existing pond, we tried to reduce the summer thermal load. The sludge reused brick "Hamarenga" finishing is used both of interior exterior spaces.

Design:
Apr.2003-Jun.2004
Construction:
Feb.2004-Sep.2004
Site Area:
84630.89m²
Total Floor Area:
329.22m²
Structure & Floor number:
RC+S / 1story
Award:
Kanagawa
architecture competition
(Encouraging Prize)



Plan

Matsuoka Hospital

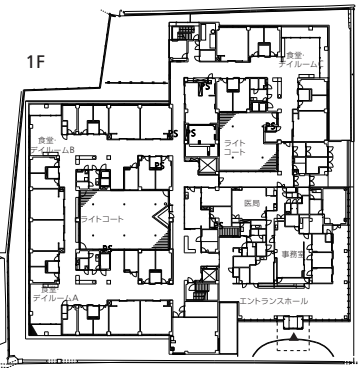
松岡病院

2004 | Kurume, Fukuoka

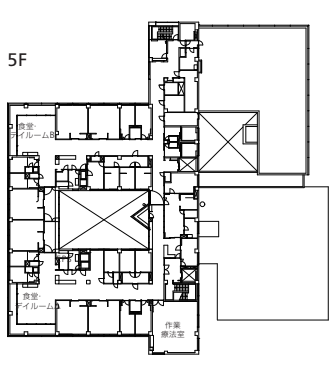
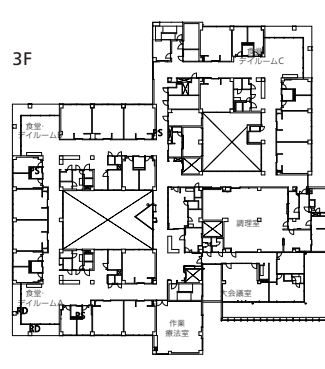
田園風景の中にある精神病院の建替計画。病棟は療養病棟、老人性痴呆疾患治療病棟、精神科病棟からなり合計270床である。各階は3つのユニットで構成し、各ユニットにサブスタッフステーションや食堂・デイルームを設け、小規模単位での治療・介護が受けられるユニットケアのプランとした。吹き抜けのライトコートから光を取り込み、明るい療養空間を目指した。(日揮と共同)

This is a reconstruction project of a mental hospital in rice paddy field. The hospital ward, composed of cure, treatment of senile dementia and phychiatry, has 270 beds totally. The three units are composed each floors. Each units having the same functions like sub-staff station, dining and day room in order to give cure and care in a small unit. The interior spaces are brightened by the sun lights from the double height space. (cooperated with JGC holdings corporation)

Design:
Dec.2002-Oct.2003
Construction:
Nov.2003-Oct.2004
Site Area:
3,565.50m²
Total Floor Area:
9,747.57m²
Structure & Floor number:
RC / 5stories



Plan



Nagoya Univ. Noyori Materials Science Laboratory

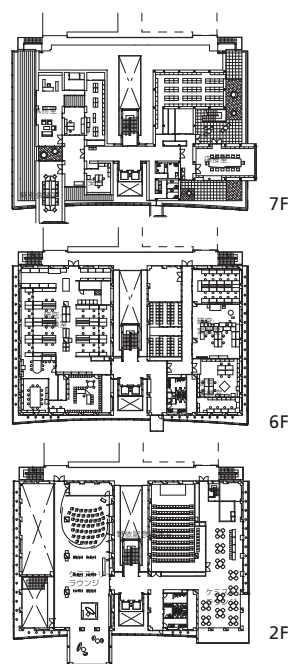
名古屋大学野依記念物質科学研究館

2004 | Nagoya, Aichi

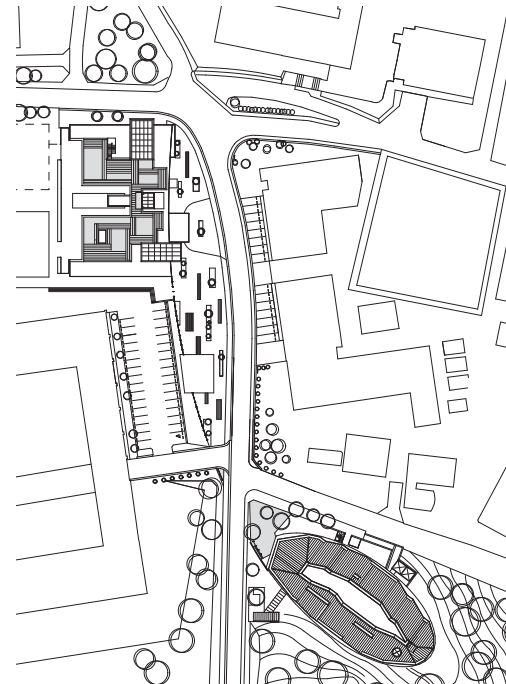
ノーベル賞受賞を記念して名古屋大学構内に建てられた、2つの建築と広場から構成される施設。物質科学研究館は研究室群と展示室、レクチャースペースで構成され、ファサードから顔を出すボックスは一般にも開かれたプログラムの存在を明快に表現している。

The facility consists of two buildings and an open space is dedicated to winning of the Nobel prize. Science Laboratory is one of them and consists of laboratories, exhibition room and lecture spaces. We put the box structure on the top of the building to express how open it is.

Design:
Apr.2002-Oct.2002
Construction:
Nov.2002-Feb.2004
Site Area:
381784.44m²
Total Floor Area:
7117m²
Structure & Floor number:
RC+S / 1basement & 7stories
Awards:
36th Chubu Architecture
Award, BCS Prize(2007)



Plan 0 10 20m



Site Plan 0 20 40m

Nagoya Univ. Noyori Conference Hall

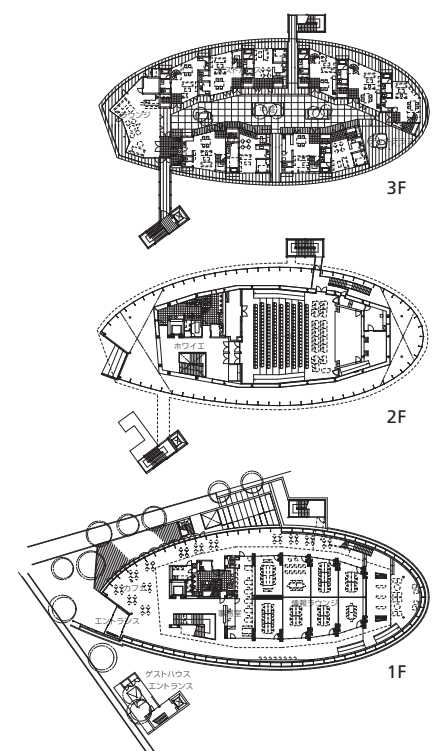
名古屋大学野依記念学术交流館

2004 | Nagoya, Aichi

学术交流館は国際的なシンポジウムや研究活動の場を提供する情報センターと海外招聘教授が滞在するゲストハウスからなる複合施設である。敷地はキャンパス内の雑木林に隣接しており、谷筋の地形に馴染むように非対称な楕円平面を採用した。1・2階はホールを含めた全学の情報空間、3・4階は木々に囲まれた快適な居住施設となっている。

The Conference Hall is a community facility consists of an information center and guesthouses for international guest professors. The site adjoining brush in the campus. We use the asymmetric oval shape plan to match for the valley line. The first and second floors are information spaces including a hall and the third and fourth floors are comfortable dwelling facilities surrounded by trees.

Design:
Apr.2002-Oct.2002
Construction:
Nov.2002-Feb.2004
Site Area:
381784.44m²
Total Floor Area:
3485m²
Structure & Floor number:
S / 1basement & 7stories
Awards:
36th Chubu Architecture
Award, BCS Prize(2007)



Plan 0 10 20m

Prize Hill

プライズ ヒル

2006 | Yokohama, Kanagawa

眺望の良い丘の上に建つ、総戸数408戸に及ぶ集合住宅のデザイン監修。全戸分駐車を地下化し、既存の植生を生かしながら敷地の60%以上をオープンスペースとして確保している。建物を小さな単位に区切りながら光や風を取り込む構成とした。又、2箇所あるエントランスホールをそれぞれ異なるコンセプトでデザインしている。

This is a multi-residential project with 408 units which is located on the hill with good view. We involved in the project as a design supervisor. We put parking space for all units in underground to get more than 60% of open space with using existing trees. The building is divided into small parts to get sunlight and wind. It also have two entrance with different design.

Design(Consultant):
Feb.2005-May.2005
Construction:
Jun.2005-Aug.2006
Site Area:
28634.1m²
Total Floor Area:
54848.99m²
Structure & Floor number:
RC+S / 2basement & 12stories



Site Plan

Ryukoku Univ. Landscape

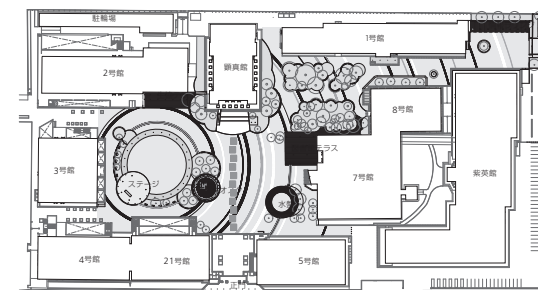
龍谷大学深草キャンパス 修景計画

2006 | Kyoto, Kyoto

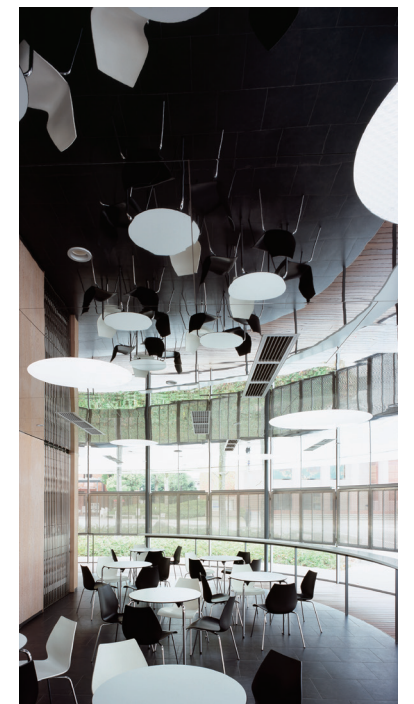
京都伏見に位置する大学校舎の内庭修景計画。正門と講堂を南北に結ぶ軸線の東側を静的、西側を動的なゾーンと位置づけながら、内庭全体に波及する円形状のランドスケープの中にキオスクやフォリー、水盤、植栽などを衛星のように適所に点在させ、軽やかな風景を作り出している。

This is a courtyard and surrounding landscape project of Ryukoku university. With the North-South axis connecting a main entrance and a hall, the site is divided into east zone (silent zone) and west zone (dynamic zone). The circle shape pattern is used for the design of whole of the courtyard and an information "Kiosk", a folly, a pool, trees and so on are scattered on the site like satellites to make light atmosphere.

Design:
Jan.2004-Mar.2005
Construction:
Aug.2005-Oct.2006
Site Area:
58151.23m²
Total Floor Area:
1105.15m²
Total Landscape Area:
15380.00m²
Structure & Floor number:
S / 1story
Award:
Ryukoku Univ.
landscape design
competition 2003
[First Prize]



Plan



Lapis

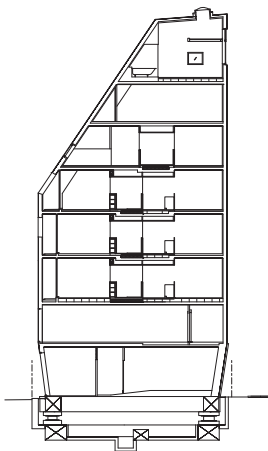
ラピス

2007 | Minato-ku, Tokyo

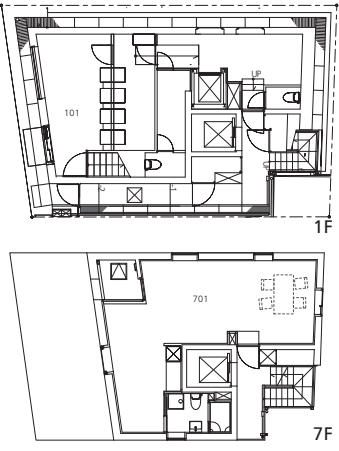
麻布十番という都心の密集地に建つ集合住宅。低層部は店舗、中高層部は単身者向けの賃貸集合住宅として計画しながら、小規模都市型住宅の新たな可能性として免震構造を採用した。居室は一体的なワンフロアとコンパクトな水まわりによって空間の拡がり確保している。

This is an apartment located in an urban dense residential area. The scheme is to show a new possibility of small urban houses by seismic isolated structure using the lower part as offices and the upper part as rented units for singles. All properties have a rich space by a compact unit with plumbing installations.

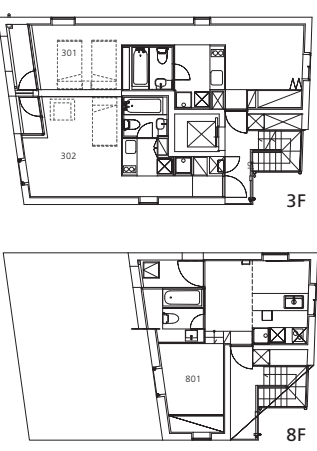
Design:
Apr.2005-Jun.2006
Construction:
Aug.2006-Jul.2007
Site Area:
112.76m²
Total Floor Area:
516.94m²
Structure & Floor number:
RC (with base isolation devices)
8stories



Section 0 5 10m



Plan



0 5 10m



Villa Vista

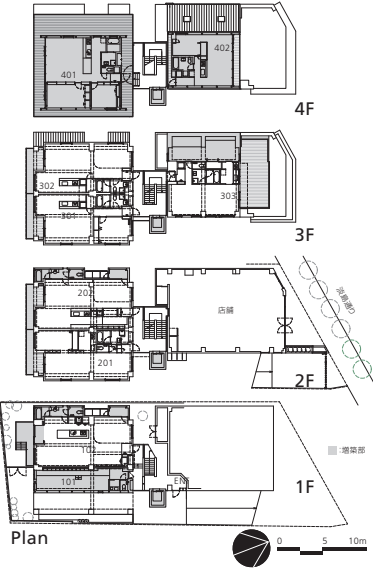
ビラ ビスタ

2007 | Setagaya-ku, Tokyo

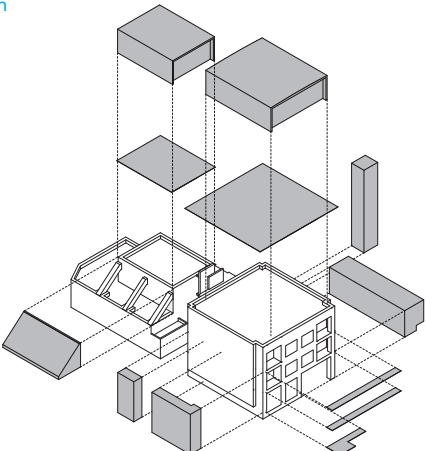
第一生命が池尻に所有する1980年竣工の家族用社宅を賃貸住宅として再生させたプロジェクトである。耐震補強しつつ、許容延床一杯に増築した。EVシャフトを加えた増築部は、エレベーターシャフト以外は屋上に載せる、あるいは横に持出すなどして既存の建物に付加している。内部は間仕切り・天井を全て取り払い、既存の大きな梁を手がかりにしながら多様なプランを試みている。

This is a renovation project to change a company family housing completed in 1980 to rental housing. We extended the floor area at the maximum under the regulation and installed EV with seismic strengthening works. The extensions are placed on the roof or cantilevered with using the existing construction. In regard to interior spaces, we took away all walls and ceilings and tried to make diverse plans by using existing big beams.

Design:
Sep.2005-Sep.2006
Construction:
Sep.2006-Apr.2007
Site Area:
569.58m²
Total Floor Area:
878.11m²
Structure & Floor number:
RC+S / 4stories/Renovation



Plan 0 5 10m



Diagram



Omizubata N house

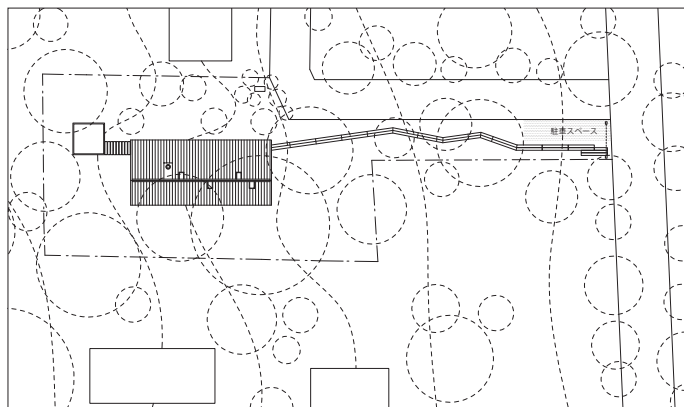
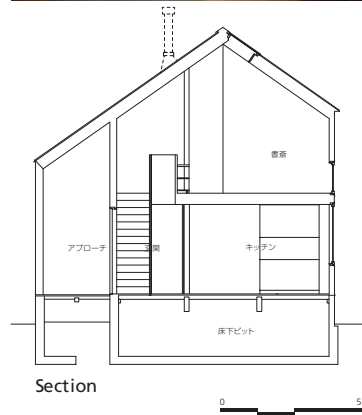
御水端 N ハウス

2007 | Karuizawa, Nagano

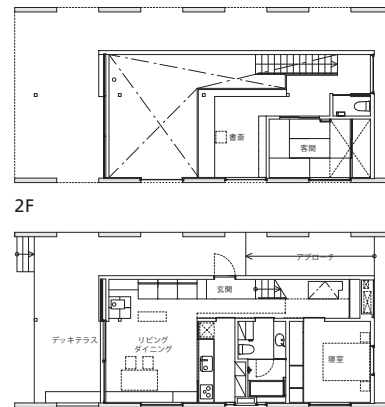
軽井沢の別荘地の一角に建つ週末住宅である。敷地南側に残された濃密な樹林の風景を梃子にプランが作られており、緑地の中から続くアプローチからテラスまでを取り込んだ切妻形状のヴォリュームの中にまとめられている。全体をコンパクトでありながら目の前の自然との関わりの中で格別な時間が過ごせるように構成した。

This second house is located in Karuizawa resort area. The plan is effected by the rich forest of the southern side of the site. All spaces including an approach and terrace are put in together in the gabled formed skin. We could spend a beautiful time with abundant green in this compact house.

Design:
Aug.2005-Feb.2006
Construction:
Jun.2006-Mar.2007
Site Area:
832.35m²
Total Floor Area:
157.70m²
Structure & Floor number:
W+S / 1basement & 2stories



Site Plan



1F

2F

Flers project

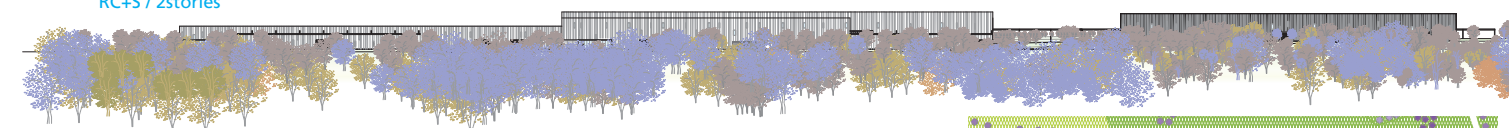
フォルシア社フレール工場

2009 | Flers, France

世界各国の自動車メーカーに部品を供給する仏企業のビジュアルアイデンティティを確立することを目的とした施設整備プロジェクト。フランス・ノルマンディに位置するフレールの工業団地計画の第1弾プロジェクトである。工場と研究開発センター、専門学校、レストラン等から構成される新しい生産拠点の全体計画を行った。フォルシア社の仕事では、韓国でも工業団地の中に工場と研究開発センターを実現している。

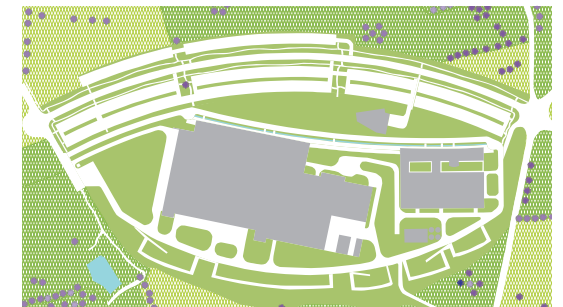
This is a project for developing facilities of the company which providing automotive products to automobile manufacturers around the world to establish the company's visual identity. And this is also the first project of the Flers industrial complex plan in Normandie, France. We designed a whole of new product facility which consists of factory, laboratory development center, restaurant and so on. We also have realized a factory and laboratory development center in an industrial complex in Korea.

Design:
May.2006-Sep.2007
Construction:
Sep.2007-Oct.2009
Site Area:
520000m²
Total Floor Area:
51400m²
Structure & Floor number:
RC+S / 2stories



South Elevation General

0 5 20 50m



Site Plan

0 100 200m

Sayama Memorial Arena

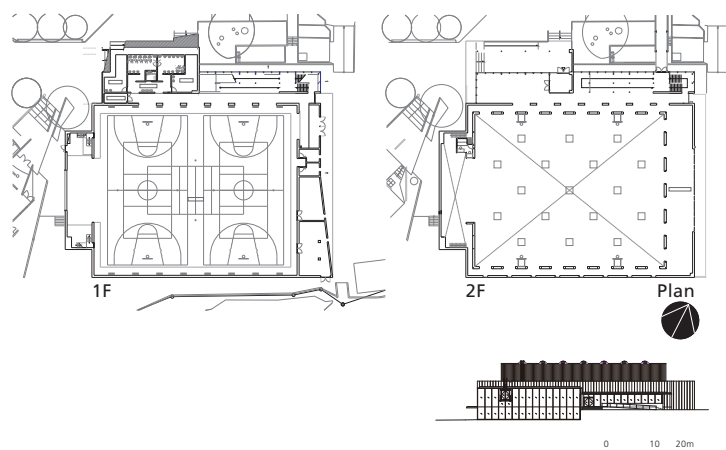
佐山記念清澄高校体育館

2008 | Sano, Tochigi

栃木県にある私立高校の体育施設。敷地段差を活かした平面構成としながら、構造を入子(外部:鉄筋コンクリート造、上部:鉄骨造)にすることによって建物周囲の高さを押さえ、周辺への景観配慮を行っている。内部は天井・壁を木質仕上げとし、本校舎からのブリッジ、アプローチスロープをアリーナ外側に設けることで、スポーツだけでなく式典等様々な使い方にも配慮した空間としている。

This arena is a private high school facility in Tochigi prefecture. To consider about surrounding environment, the nesting structure with RC and Steel is used and it makes it possible to constrict building height with using the site stepped surfaces. It has wooden finishing for interior space. Connecting by outdoor bridge and approach slope from a school building, it is supposed to use as a ceremony space and other ways as well.

Design:
Jun.2006-Mar.2007
Construction:
Apr.2007-Feb.2008
Site Area:
28311.47m²
Total Floor Area:
2330.34m²
Structure & Floor number:
RC+S / 2stories



Hinode studio

日ノ出スタジオ

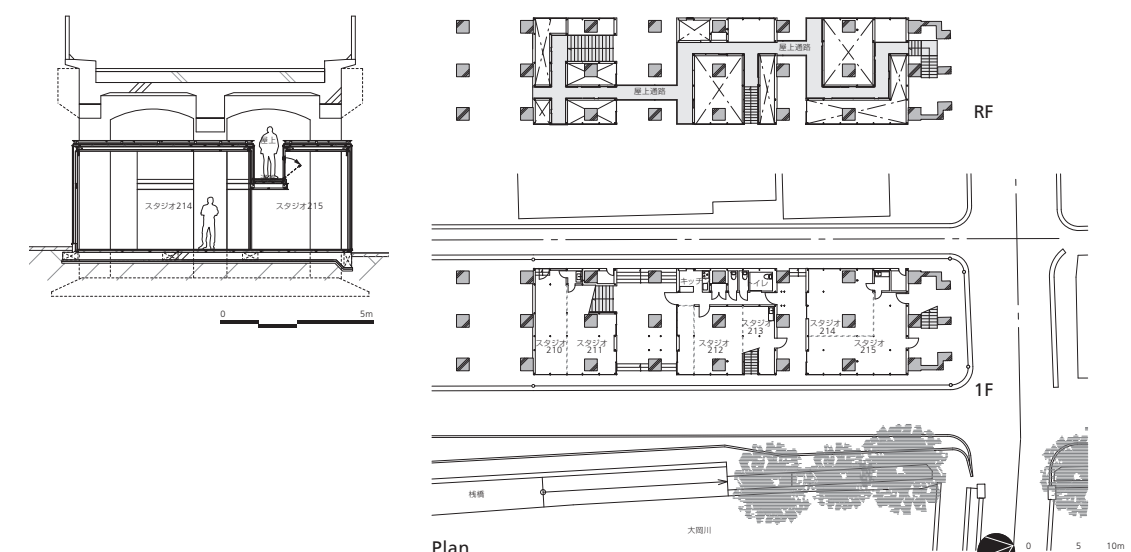
2008 | Yokohama, Kanagawa

黄金町再生のために京浜急行の高架下につくられた鉄骨造のスタジオ。3つの分棟構成で、棟の間は高架の両側を繋ぐ路地空間となっている。軽量鉄骨とガラスでつくられた天井高3,200mmのスタジオは、ショーケースのように中の様子を街にディスプレイする。スタジオのボリュームに食い込むように、ウッドデッキが張られた屋上通路がヴォールト状梁の中央部を結び、巡っている。

The studio of steel construction is located underneath of elevated railway for Koganecho-town regeneration. It is made by a composition of three volumes and allay spaces are put between each volume connecting both side of the elevated railway. The 3,200mm ceiling height studio using right steel and glass displays interior atmosphere to surrounding area like a showcase. In addition, a wooden pedestrian deck which is settled half down of the roofs is extended on these volumes.



Design:
Aug.2007-Apr.2008
Construction:
May.2008-Aug.2008
Site Area:
385.17m²
Total Floor Area:
212.07m²
Structure & Floor number:
S / 1stories



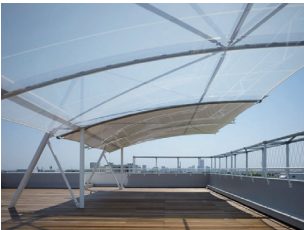
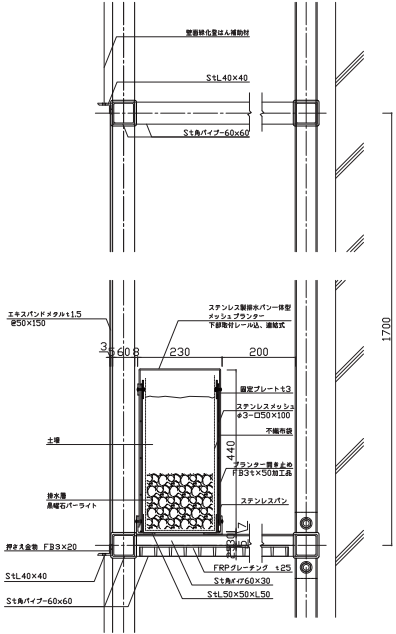
Yokohama National Univ. Architecture and Building Science Dept.

横浜国立大学建築棟 2009 | Yokohama, Kanagawa

横浜国立大学建築棟の改修計画である。研究室が多くを占める5～8階では南北の通風を確保したラウンジ空間を設けた。異なる研究室に属する学生たちが、明るく開放的な環境のしたで互いの気配を感じながらも、快適な居場所を確保できるよう計画した。キャンパスの豊かな樹林に呼応して60mm角の鉄骨で構成されるグリーンウォールには、計16種類の植物が植えられて建物全体が季節の衣替えをするように被覆される構成になっている。

This is a renovation of an architecture building of Yokohama National University. The upper floors almost occupied with lab have lounge spaces with northern and southern side's good ventilation. The scheme is to make a comfortable space in which all students feel existences each other sharing a open and bright environment. The green walls have sixteen kinds of vegetation and shows us different faces each seasons. The green walls consist of 60mm grid steel have sixteen kinds of vegetation and show us different faces each season in response to campus's abundant forest.

Design:
Jan.2008-May.2008
Construction:
Jul.2008-Mar.2009
Site Area:
363735.61m²
Total Floor Area:
3142.76m²
Structure & Floor number:
RC / 9stories&1tower
Renovation



Yokosuka Kamoi Housing

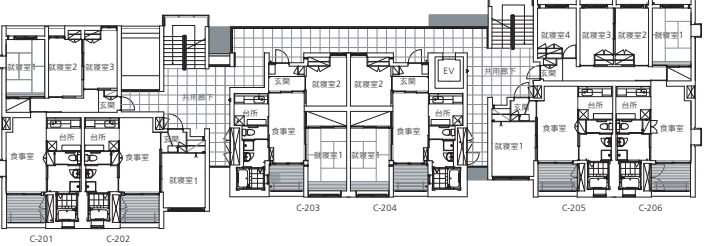
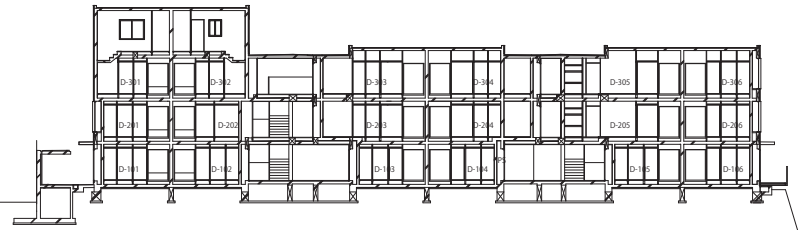
横須賀 鴨居ハイム

2009 | Yokosuka, Kanagawa

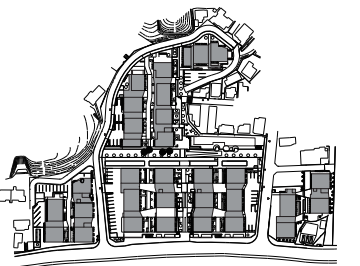
1950年代に建設された市営住宅団地の建て替えのプロジェクトである。元々の戸建て団地のコミュニティを引き継ぐ意図で、全体の敷地特性を考慮し、2.3階の低層建築で計画した。2DKの住戸を2戸ずつ組み合わせたプランを基本単位とし、1LDK、3DK、4DKなどの住戸バリエーションも用意した。また60歳以上を対象としたシルバーハウジング棟も組み込まれている。縦横に貫入する外部空間を団地内だけではなく周囲の住民も入れるコモンスペースと考え一体的に整備している。

This is a rebuild project of public housing complex built in the 1950s. We used two or three story volumes under consideration of whole the site conditions to take over the original community. Each volume, made by a combination of two 2DK housing plans basically, consists of 1LDK, 3DK, 4DK and so on housing plans. And the housing for the over sixty years old elderly is planned on the site as well. The outdoor spaces, arranged in a matrix in a plane, work as common spaces not only for housing residents but also for surroundings.

Design:
Oct.2002-May.2005
Construction:
Jun.2005-Mar.2009
Site Area:
15853m²
Total Floor Area:
11901m²
Structure & Floor number:
RC+S / 3stories
Award:
Yokosuka Kamoi Housing
Esquisse Competition
(First Prize)



Building-C 2F Plan



Site plan



PARK HOUSE KICHIJJOJI "OIKOS"

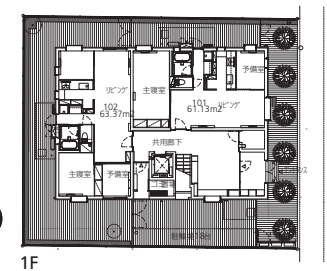
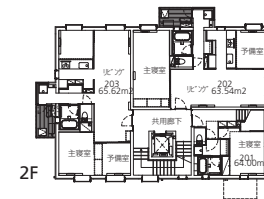
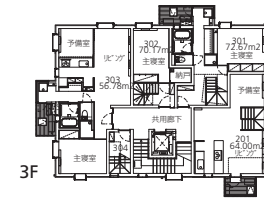
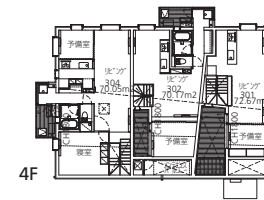
パークハウス吉祥寺オイコス

2010 | Musashino, Tokyo

環境配慮型の9戸の分譲マンションである。外断熱外壁、床下チャンバー空調、木製サッシ、太陽熱利用の給湯器、太陽光発電、LEDなど、様々なエコロジカルな仕組みを実装している。専有部は、バルコニーと一体となった水周りをコンパクトにまとめ、シンプルな仕組みで多様な住まい方が出来るようにしている。一転して、共用部は仕上げやテーブル、ベンチに至るまで作り込むことで集まって住む際の象徴的な空間としている。

This is a condominium apartment for nine families. It have been provided various ecological devices like external thermal insulated underfloor and exterior wall ventilation, wooden sash, solar thermal water heater, solar power, LED and so on. Each properties has a diverse way of life by a compact unit with plumbing installations and a balcony. On the other hand, this public space has a symbolic nature of living together by well designed details and furnitures.

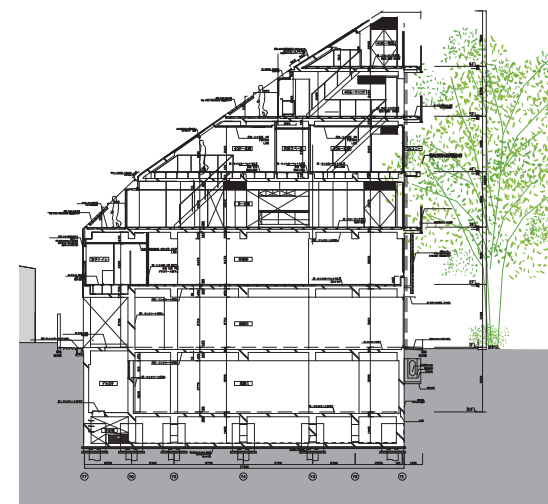
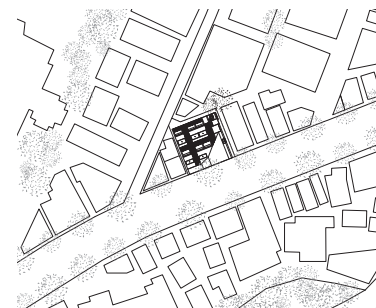
Design:
Sep.2008-Oct.2009
Construction:
Nov.2009-Oct.2010
Site Area:
361.29m²
Total Floor Area:
703.24m²
Structure & Floor number:
RC / 4stories



吉祥寺駅西南エリア、吉祥寺通りケヤキ並木に面した店舗、オフィス、共同住宅からなる第一生命による賃貸コンプレックスである。北側斜線と日影規制によって大きくそがれた2辺をもつポリウムの中に4階1フロアのみ共用アクセスとした3/4階メゾネット、4/5/6階トリプレットを基本とした7住戸が配置されている。平面的にはサービススペースを2戸1にまとめて長く取り、構造の耐震要素もまかなうコアと考えることで、すべての住戸が南北に開かれた空間となっている。

We had rebuilt the old office building as a complex of shops, offices and apartment for rent owned by Dai-ichi Life Group. The site is located on south-western area of Kichijoji station facing a beautiful "Keyaki (Zelkova)" street. The deformed volume was led by a northern diagonal restriction and sun shadow control. There are seven units in this volume based on duplex and triplet apartments. In terms of planning, we had wrapped up service spaces of two units into a long volumes which is working as a core. It makes all units to be open toward both of southern and northern directions.

Design:
Jun.2008-Mar.2009
Construction:
Apr.2009-Mar.2010
Site Area:
387.15m²
Total Floor Area:
1321.85m²
Structure & Floor number:
RC / 1basement & 6stories



PARK HABIO Komazawadaigaku

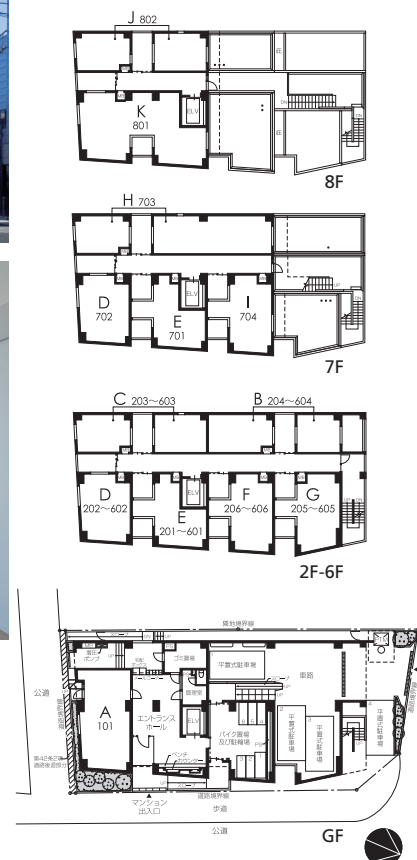
パークハビオ

2010 | Setagaya-ku, Tokyo

環状7号線に面する三菱地所の賃貸集合住宅。バルコニーに続くユニットエントランスを自転車置き場と兼用し、中廊下と遮音のため閉ざした居室に光を導く装置として実現した。

This is a rental apartment project owned by Mitsubishi Estate beside a wide urban street. The unit entrance which is used as a bicycle parking works as a device to get a sunlight into central corridor and closed residential interior for sound insulation.

Basic Design+Consultant:
Feb.2008-Dec.2008
Construction:
Feb.2009-Feb.2010
Site Area:
426.80m²
Total Floor Area:
1860.57m²
Structure & Floor number:
RC / 8stories



新潟県上越市高田の豪雪地帯に建つ住宅である。多い年では2mを超える積雪に対し、屋根散水による融雪を考えた。地形のように折れるRCの大屋根で全体を覆い、センサーで降雪を感じ、井水を散布する。屋根の形状は内部にそのまま現れ、コンクリート壁と木の仕上げが混在したおおらかな室内空間を実現している。

This house is located on a heavy snowfall area in Takada, Joetsu City Niigata Prefecture. We came up with using a roof sprinkler system for more than 2m deep snow melting. The RC roof has a well water piping up system when the senser detects the snow and the folded shape has continuous gentle slopes like a terrain. The shape of the roof made varied ceiling shape and made generous interior spaces with the mixed RC walls and wood finishing.

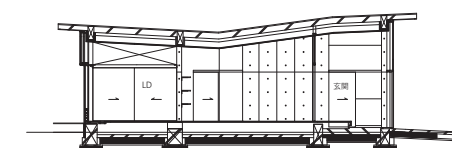
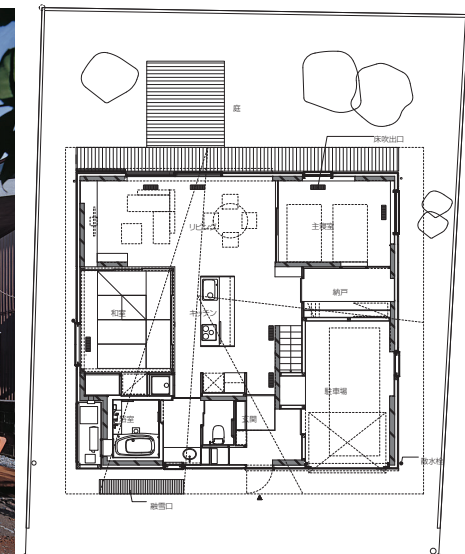
Design:
Jan.2011-May.2011
Construction:
Jun.2011-Oct.2011
Site Area:
264.07m²
Total Floor Area:
90.55m²
Structure & Floor number:
RC / 1story



House in Takada

高田の家

2011 | Joetsu, Niigata



Mina garden[garden for everyone]

ミナガーデン

2012 | Tokaichiba, Yokohama

「横浜市脱温暖化モデル住宅推進事業」という横浜市の新しい試みとして産・官・学の協働により実現した、環境配慮型まちづくりモデルの提案である。5角形を基本とした宅地割をパッチワーク状に組み合わせ、土地の持つ高低差を活かし、中央にコモンスペース「みんなの庭」を設けることで、起伏のある林の中に家が点在するような豊かな町並みを実現している。居住者が「みんなの庭」を介して景観や環境を共有し、自らの手で住まいを育む意識をサポートする実証実験やワークショップなどをポストデザインとし、脱温暖化社会にふさわしい新しいライフスタイルが実践されることを期待している。

As a model of environment-conscious planning, this project, taking a responsibility as a new attempt of Yokohama city, is realized by collaboration between industry, government and education. We came up with using pentagon-shaped lots on the contoured site and planned a common space "A Garden for Everyone" in a center of the site to make a rich townscape. This space is also working as a place to make a good relationship between each resident by sharing the environment. They also have tried to work on some demonstration experiments and workshops to developing their habitation by themselves. We expect a new life for declining global warming will be realized here.

Design:
Jan.2011-May.2011
Construction:
Jun.2011-Oct.2011
Site Area:
264.07m²
Total Floor Area:
90.55m²
Structure & Floor number:
RC / 1story



Corporative House in Yakumo

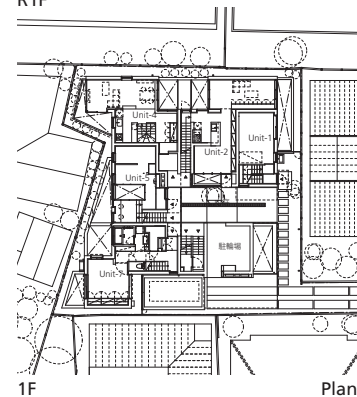
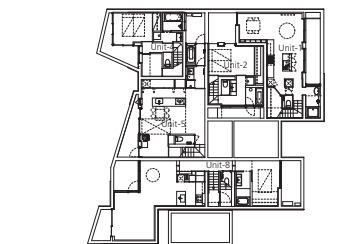
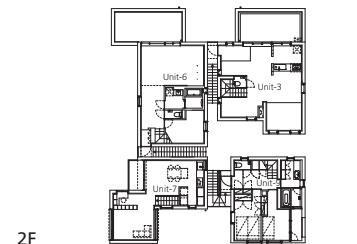
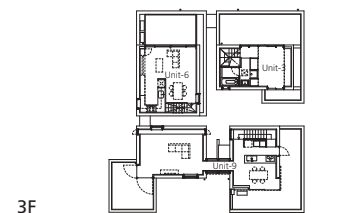
八雲コートハウス

2013 | Meguro, Tokyo

9戸の世帯が入るコーポラティブハウス。長屋通路を囲むように住棟を配置しコートを開けた。住棟は周辺環境の密度を引き継ぎ、各住戸の独立性を確保するように分棟形式を採用している。各所で雁行型の平面をつくることにより、ドライエリアを確保すること、敷地を隅々まで使い切ることを両立した。大開口は、ドライエリアとその上空に面するように配置し、限られた敷地内に程よい距離感を確保することを目指した。一方で小さな窓は、他住戸や隣家と直接向き合わないよう、適宜設けている。

This is a corporative house project in Tokyo. The volumes face each other across lanes and a court yard is put in the center of them. Each volume are arranged separately to gain independence and match for surrounding building density. By using flying geese pattern planning, we tried to use whole parts of site area efficiently and get some areaways. Big openings are placed toward areaways and sky to get suitable distance sense. On the other hand, small openings are placed not to face each other directly.

Design:
Nov.2010-Dec.2011
Construction:
May.2012-June.2013
Site Area:
508.02m²
Total Floor Area:
747.31m²
Structure & Floor number:
RC / 1Basement&3story



Plan

Okinawa Nursing Training Center

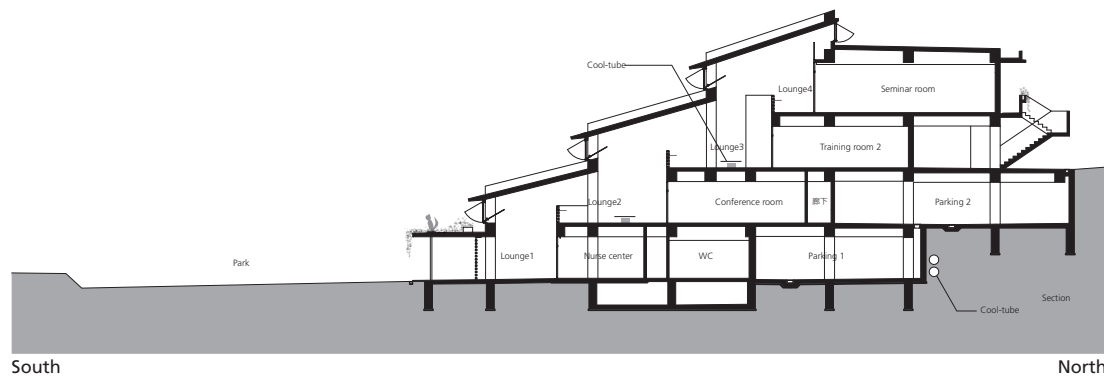
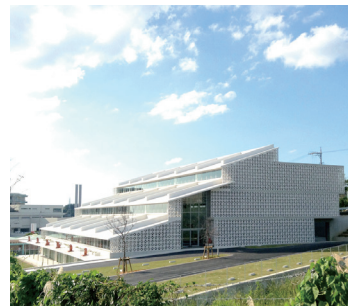
沖縄県新看護研修センター

2013 | Haeburu, Okinawa

沖縄県看護研修センターは、公益社団法人沖縄県看護協会の拠点であり、看護師の教育研修を主とし、訪問看護の拠点、看護師のための相談所を含んだ複合施設である。設計にあたり、沖縄の厳しい環境や複雑な敷地条件を慎重に読み取り、それを建築に活かすことで、ここでしか実現できない新しい建築の姿を提案した。分割されたRCの大屋根を設け、その下に明るくて風通しの良い大きな日陰（ラウンジ）をつかった。また、建築全体を立体的につなげる空間構成とすることで、様々な方向に開いた裏のない建物となり、どこにいても人々の活動が感じられる魅力的な空間を実現している。

"Okinawa nursing training center" is a new head office of Okinawa prefectural nursing association and also a training center for nurses to train various practical techniques. We proposed a new Architectural style that can be realized only in this place, that is deeply related to environment and climate of the place. There are 4 large roofs that block the very hard summer sunlight in Okinawa, constructed with RC, create a large shade under the roofs. On the other hand, by making continuous atriums, people can feel the vibrant wherever you are.

Design: May.2011-Aug.2012
Construction: 2012-2013
Site Area: 14950.00m²
Total Floor Area: 4377.49m²
Structure & Floor number: RC+SRC / 4story
Award: The first prize of Okinawa nursing training center Design Competition in 2011
The first prize of the 16th Environmental Architecture Awards (general architecture category), The first prize of Environmental and Equipment Design Awards in 2013.



Utsukushigaoka Nishi Elementary school

美しが丘西小学校

2013 | Yokohama, Kanagawa

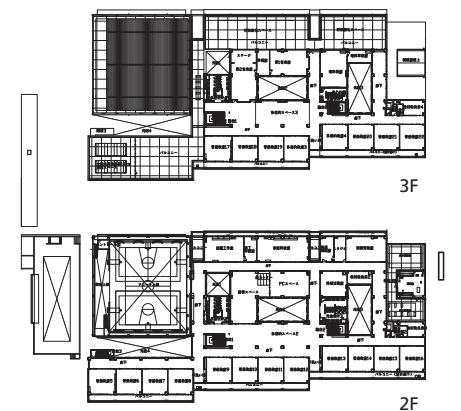
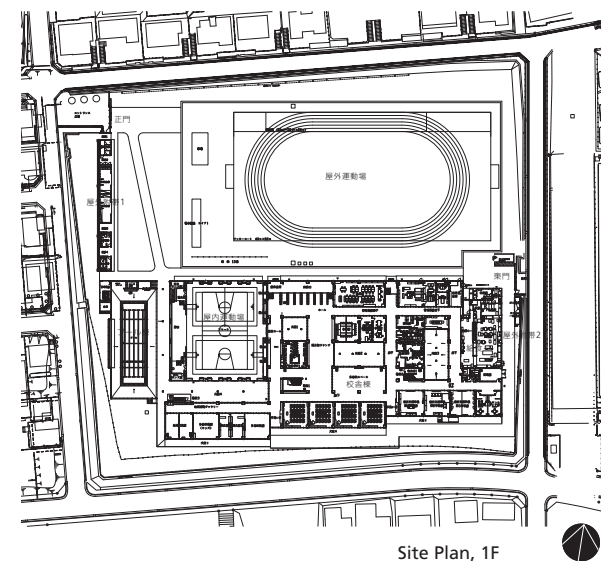
階段状に広がる閑静な住宅地の中にあり、南に街並みを一望する高台に立地している。周囲には畑や公園などの緑地もあり、校内にはその風景と連続するよう、子供たちが日々学び、遊ぶための場所が立体的に積層する。内部には4つの光庭を設け、南北に抜ける廊下と繋がり自然の換気ルートを作ることで、空調設備に頼ることなく、自然通風を十分確保し、ガラス面が受ける日射量を軽減する深い庇や緑のカーテン、教材としても活かせる太陽光発電、雨水利用など様々な環境負荷軽減への取組みも採用している。さらに、地域施設として必要な安全性能を満たすだけでなく、将来の学習形態の変化や用途変更にも容易に対応できるようPC造を採用し、大スパンを飛ばすことで無駄な柱や壁を最小限に抑え、災害にも強くフレキシブルな建築を実現している。

This school is located in a stepped residential area and be able to get a townscape view in the southern side. We made vertical layered spaces for learning and play to get sequence from surrounding landscape like fields and park green spaces. Four court yards and corridors are connected and making a natural wind ventilation road. Eaves and green curtains protect from the sun light and solar power generation and rainwater utilization system are set up. In addition, we use PC structure for this building and can reduce a number of columns and walls to get a flexibility for the future planning and as an evacuation center.

Design: Jan.2010-Oct.2011
Construction: Oct.2011-Mar.2013
Site Area: 15690.40m²
Total Floor Area: 9193.62m²
Structure & Floor: RC,PC,S / 3story



©鈴木研一



Flor Yokohama Yamate

フロール横浜山手

2015 | Yamate, Yokohama

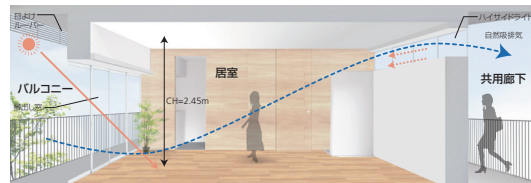
大和町団地建替計画は、神奈川県住宅供給公社が最初に竣工させた団地の建替計画である。住居プランは、間口が広く奥行きが浅い、キッチン水廻りコアと居住部で構成される。風通しや、プライバシーに対して注意深く配慮しながらバルコニー側は引違サッシの連窓、廊下側はハイサイドサッシの連窓を設けている。ローコストでありながら合理を求めた平断面を目指した。又、民間マンションとは異なる共同体を特徴づける共用部を用意するため、住戸を敷地形状に合わせながら、円環状に配置し、誰でも自由に利用できる中庭を設け、中庭に面して、集会室と防災備蓄庫を用意し、居住者だけでなく、地域の commonspace として計画した。この建替え計画と並行して、県公社の標準仕様を見直し、給湯器、ビルトインガスコンロ、冷暖房設備、収納、カメラ付インターフォン、宅配ボックス、などの備品要素に加え、厚突きフロ어링、外断熱、ペアガラスの採用などの室内外の仕様に関して一つ一つ協議し決定した。

This is a rebuild public multi-residential project in Yokohama. Each lot have a wide frontage and consist of kitchen and water section part and other living section part. The balcony side have multiple sliding windows and the corridor side have high side windows to make a natural wind ventilation system with them. We tried to make an affordable and rational horizontal and sectional plan. We also put a public courtyard which is available for local residents as well in the center of the site. We tried to make a new multi-residential community by these kinds of common spaces. In addition, we also revised standard issues of public residential project with government corporation.

Design:
Dec.2011-May.2014
Construction:
June.2014-June.2015
Site Area:
2,568.35m²
Total Floor Area:
2,784.89m²
Structure & Floor number:
RC / 3story



Photo©Shigeo Ogawa



Site Plan, 1F



Ryukoku Univ. Fukakusa Campus "Wagenkan"

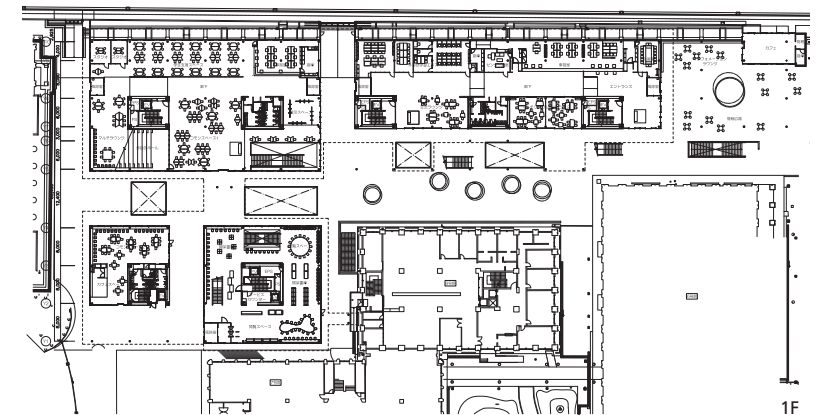
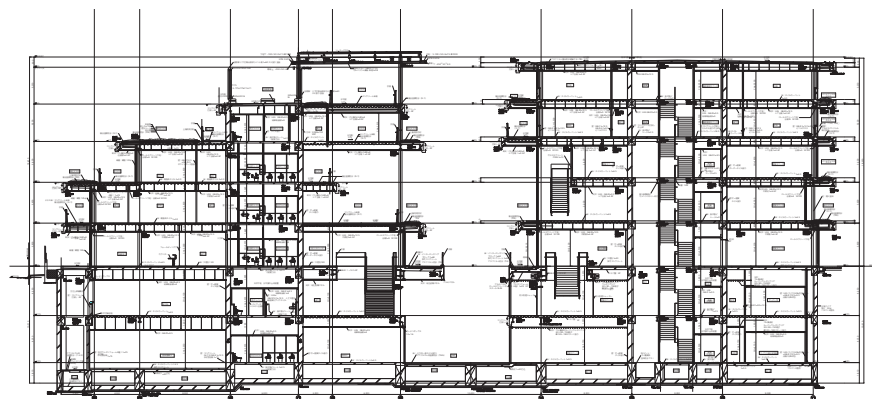
龍谷大学深草キャンパス 和顔館

2015 | Kyoto, Kyoto

70万冊収蔵の図書館機能に加え、竣工後移転予定であった国際学部講義室・研究室を有する複合的な大学施設である。街路を引きこむように建築のアプローチを設けている。地階から地上5階まで外部テラスで上ることができるようにし、動線を外部化し建物外から直接各階・プログラムへとアクセスできる構成とした。研究室や講義室、図書館など多様な空間で行われる学生の活動がそれらをつなぐ commonspace で可視化され、キャンパスの新しい風景をつくっている。

It is a new university complex facility consist of library function with seven hundred thousand books, lecture rooms and laboratories for faculty of international studies. The approach has a sequentiality with a street to engage with it. We came up with using exterior circulations with terraces to access each floors and programs from underground level to 5th floor. Various student's activities are visualized due to this building and it will make a new future campus scape.

Design:
Mar.2012-Mar.2013
Construction:
Mar.2013-Jan.2015
Site Area:
58151.23m²
Total Floor Area:
27612.37m²
Structure & Floor:
S+RC, SRC / 2basement & 5stories



1F

Kyoto prefectual Library and Archives

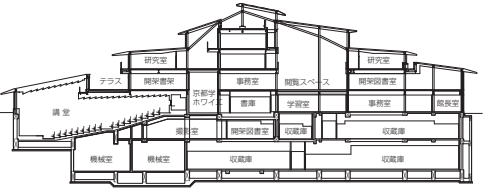
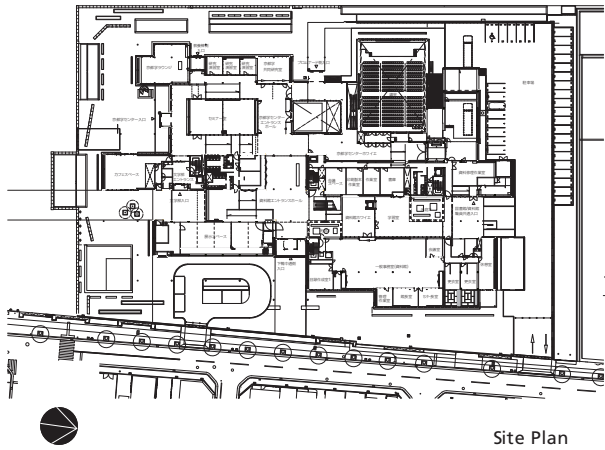
京都府立京都学・歴彩館

2016 | Kyoto, Kyoto

北山文化ゾーンの新しい文化交
流・発信拠点となる総合資料館、
府立大学文学部及び図書館の複
合施設である。条坊性に代表さ
れる京都の伝統的な都市構造を
取り込み、様々な方向からアプ
ローチできる回遊性や路地性を
生み出すと共に、京都の街並み
の風景を特徴付ける大屋根を新
たな環境装置と捉え、周辺の街
のスケールや内部の機能に対応
して分節することで、歴史を継承
しながらも京都の新しい公共空
間の実現を目指している。

This project is a new complex of
'Kyoto prefectual library and
archives', 'Kyoto prefectual
University' and 'Kyoto Learning
center' . We have referred to
Kyoto's traditional urban structure
in order to fuse these three
functions together. Furthermore,
we came up with designing a
new big roof which is divided into
segments to match different
scales of surrounding environ-
ments. This new roof has a
potential to realize a form of new
public space in Kyoto.

Design:
Oct.2011-Sep.2012
Construction:
2013.Aug-.2016.June
Site Area:
117,401m²
Total Floor Area:
23,975m²
Structure & Floor number:
RC+S,5 / 2stories
Award:
Kyoto prefectual library
and archives,
international design
competition 2011 First Prize



Site Plan

Section

Ryukoku University Fukakusa Campus "Senshokan"

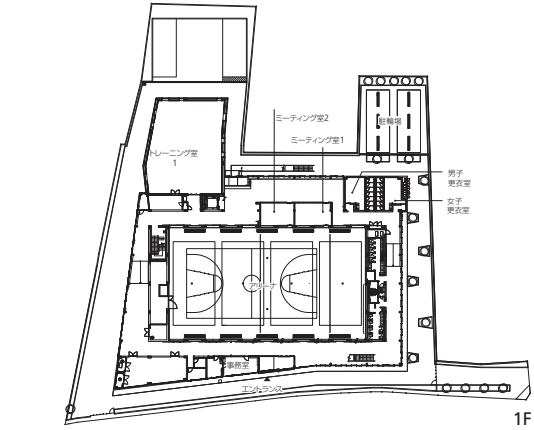
龍谷大学深草キャンパス 専精館

2016 | Kyoto, Kyoto

龍谷大学専精館は学生の課外活
動をサポートする為の施設であ
り、アリーナを中心に4つのト
レーニング室、3つのミーティ
ング室、2つの会議室、その他それ
らに付随する機能で構成されて
いる。不整形な敷地の中心にア
リーナを配置することで敷地境
界から距離を確保し近隣への騒
音、振動に配慮している。アリー
ナ、トレーニング室には外断熱工
法を採用し、全館空調とすること
で一年を通じてスポーツ活動に
適した環境を実現している。

Ryukoku University Senshokan is
an university facility to support
student's extracurricular activities.
It consists of four training rooms,
three meeting rooms and others and
an arena is put in the center of
this building. The facility is
located in the center of irregular
site to have some distance from
the boundary under consideration
of reducing noise and vibration. It
has external heat insulation
system for arena and training
rooms and fully air condition
system to provide a pleasant
sports activities space through a
whole year.

Design:
Apr.2014-June.2015
Construction:
July.2015-Sep.2016
Site Area:
5105.84m²
Total Floor Area:
5382.30m²
Structure & Floor:
RC+S / 3stories



@鈴木研一

Tokyo University of the Arts Ueno Global Residence

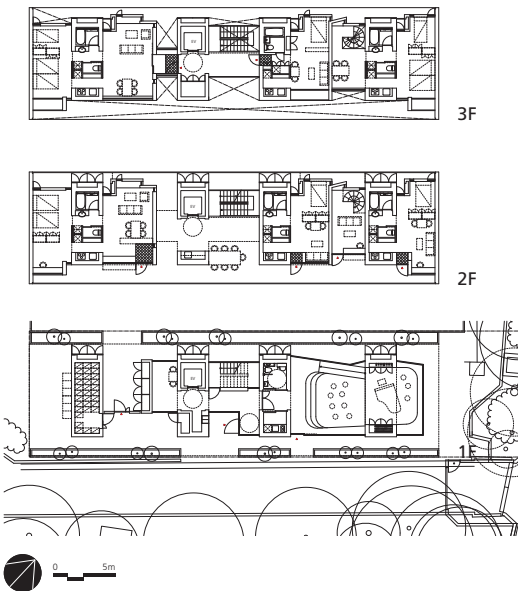
東京藝術大学 Ueno Global Residence

2018 | Taito-ku, Tokyo

東京藝術大学Ueno Global Residenceは、世界トップレベルの招聘教員等の生活環境を整え、教育研究の支えとすることを目的とした外国人教員宿舎である。水廻り・EV等をまとめたRCコアをバランスよく配置し、全体を支える合理的な計画とした。居住スペースはフラットタイプとメゾネットタイプを組み合わせ、居室のバリエーションをつくり滞在者の人数に合わせて利用できるよう計画した。

Tokyo University of the Arts Ueno Global Residence is a teacher's dormitory for foreign professors to give comfortable life environment and support world top level guest professors's researches. The RC cores with water section unit and EV are arranged in a balanced position. Residential spaces are composed with flat and duplex types to fit for various party of residents.

Design:
Nov.2016-July.2017
Construction:
Aug.2017-Mar.2018
Site Area:
544.42m²
Total Floor Area:
468.41m²
Structure & Floor number:
RC / 3stories



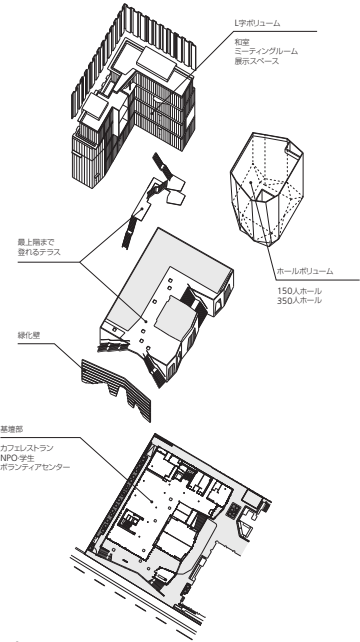
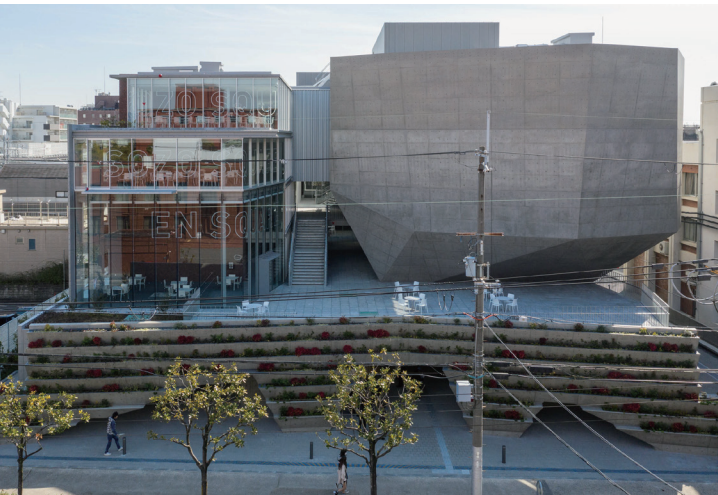
Ryukoku University Fukakusa Campus Jojukan

龍谷大学深草キャンパス 成就館

2020 | Kyoto, Kyoto

龍谷大学成就館は学生の文系系サークル活動の拠点となる施設であり、演劇・プラスバンド・管弦楽に対応した350人規模の本格的なホール、様々な使い方が可能な150人規模の平土間のホール、和室、多目的なミーティングルーム、イベントスペース、展示スペース等といった活動の場所のほか、誰でも利用可能なカフェレストランを設え、大学教職員や学生だけでなく周辺住民にも開かれた建築となっている。基壇部とした1階にはそのカフェレストラン、学生による社会連携・地域活動をサポートするNPO・学生ボランティアセンターなどを集約し、その基壇の中央に上下に重ねた2つのホールをRC造のボリュームとして配置し、それをL字で取り囲むガラスの積層に活動諸室を配置した。2つのボリュームの隙間にはメインキャンパスや既存棟館から繋がる動線がテラスを介しながら最上階まで登っていく。学生の主体的な活動、そこでの賑わいが建物内外にあふれるような建築を目指した。

Design:
Jun.2017-Aug.2018
Construction:
Sep.2018-Jan.2020
Site Area:
5630.46m²
Total Floor Area:
5607.13m²
Structure & Floor:
S+RC, SRC / 1basement & 5stories



Diagram

"Jojukan" is a base facility for cultural club student activities. It consists of a 350 people hall corresponding to a play, brass band and orchestra, a 150 people flat hall, a Japanese room, versatile meeting rooms, event spaces, exhibition spaces and also an open cafe restaurant. Depending on these spaces, not only students and professors but also residents living in the vicinity can use this facility. The first floor has the cafe restaurant, the NPO and student volunteer center to support social engagement and community activities by students. The above two halls shaped an RC volume are placed on the center of the first floor and a L-shaped glass volume surrounding it has other activity rooms. In-between these volumes is used as a vertical circulation space which continuing to main campus and existing facilities. We set out to realize an architecture in and out of which student's activities and turnouts are overfull.

Ryukoku University Fukakusa Campus "Mitrakan"

龍谷大学深草キャンパス ミトラ館

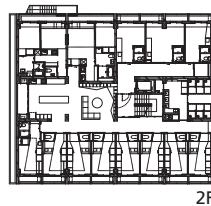
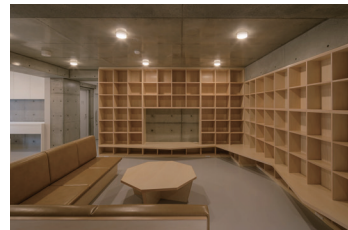
2020 | Kyoto, Kyoto

龍谷大学ミトラ館はグローバル化が進む大学に求められる留学生寮としての機能に加え、他大学の学生を交えた課外活動ができ、卒業生や保護者も利用可能な短期研修機能や海外からの短期研究員の滞在施設である教員宿舎機能が集まった建築となっている。

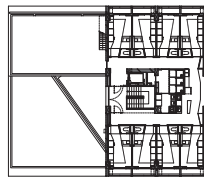
また、体育館やクラブ棟などキャンパスの他施設と隣接している立地を生かし、交流スペースや階ごとに特徴の異なる個性的なラウンジを各所配置することで、他施設と連携しながら学生を中心とした利用者の主体的な活動を支援するキャンパス全体の活性化を促す建築を目指した。

"Mitrakan" is the international students dormitory of Ryukoku university. The functions are not only the dormitory desired to the university in the globalization but also a short term's training function for extracurricular activities with other university's students, and also graduates and their guardians can use the space. It also works as a teacher apartment for foreign researchers. By the good location closed to the other university facilities like the Gym and club activities building, the dormitory has engagements with these buildings with some community spaces and unique lounges in each floors. It will work to activate a whole of the campus by supporting independent activities by students and others.

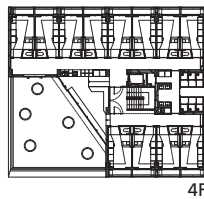
Design:
Aug.2018-May.2019
Construction:
Jun.2019-Jun.2020
Site Area:
718.18m²
Total Floor Area:
1778.29m²
Structure & Floor:
S+RC, SRC / 5stories



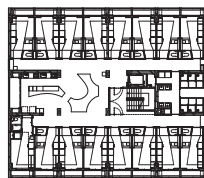
2F



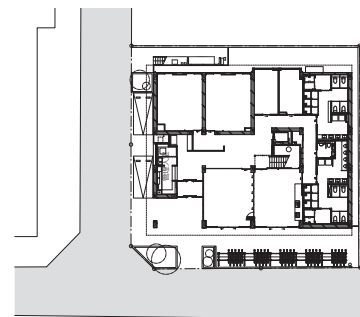
5F



4F



3F



Site Plan, 1F

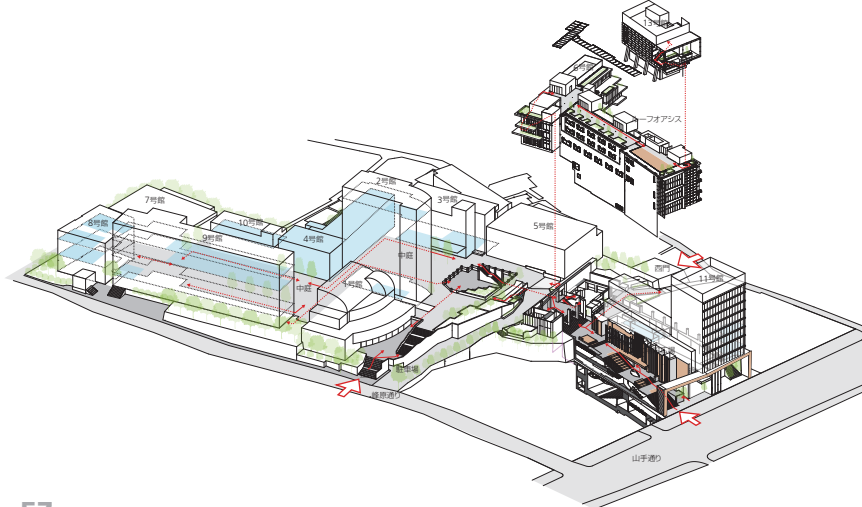
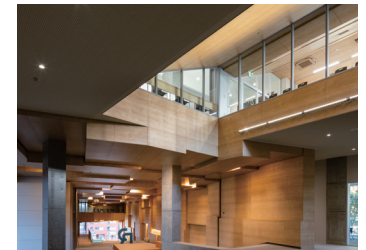
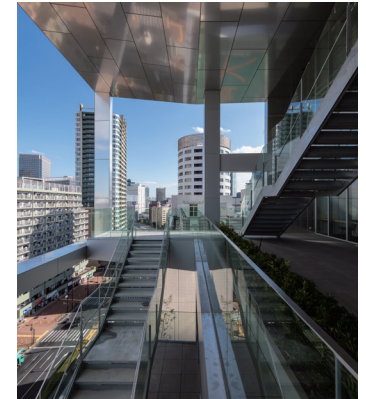
Rissho University Shinagawa Campus

立正大学品川キャンパス

2021 | Shinagawa-ku, Tokyo

立正大学開校150周年に向けた第一次施設整備事業の記念施設である。建物全体は主に山手通りから接続する低層部の地域連携ゾーン、キャンパス中庭レベルと接続する教室ゾーン、上層部の先端研究ゾーンの3つのゾーンから構成される。丘陵状の敷地形状を生かして街に大きく開かれた大階段広場など、特徴的なcommonsをこれら3つの機能を結び付けるように立体的に配置することで、各機能の独立性を持たせながら重ね使いなどを促す柔軟性の高い計画としている。次世代型の大学施設として学生のみならず、地域社会と共に成長する開かれた「知の拠点」の実現を目指している。

The memorial establishment is one of the primary facilities construction project for the 150th anniversary of Rissho university. It mainly consists of three zones, the regional alliances zone in the low level connect with Yamate street, the classrooms zone in the middle level connent with court yard, and the advanced research zone in the high level. The great stairs open space built by using original hilly site situation is one of the characteristic common spaces for the project. These kinds of various common spaces are placed vertically to connect above three zones and stimulate mixed-usage of these functions. We set out to realize a open "hub of knowledge" developed with not only students but also local communities as a next generation university facilities.



Design:
2016-
Construction:
2018-2020
Site Area:
23,076.9m²
Total Floor Area:
12,494.17m²
Structure & Floor number:
S+RC 10 / 4story
Award:
Rissho University
Shinagawa Campus
design proposal 2016
First Prize



2022年11月1日発行

発行人 飯田善彦

デザイン NDCグラフィックス

印刷 株式会社 コラボ

編集・発行 株式会社 アーキシップスタジオ

横浜事務所

神奈川県横浜市中区吉田町4-9

TEL. 045-326-6611 | FAX. 045-326-6617

京都分室

京都府京都市東山区今熊野日吉町37-16

E-mail info@archiship.studio

URL http://www.archiship.studio

© Archiship Studio Inc.